

683.8

77

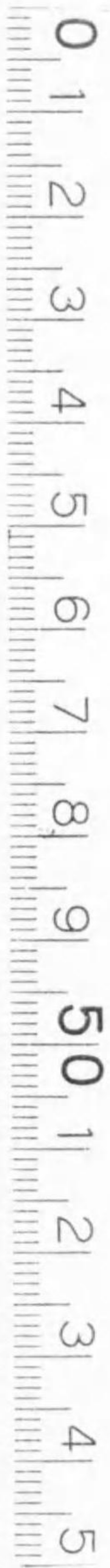
683.8-N777



船員保險關係法規

院社會保險局編纂

法財團 健康保險協會



始



683.8  
N77



目次

一、船員保險法……………一

二、船員保險法ノ一部施行期日ノ件……………三

三、船員保險法ノ一部施行期日ニ關スル件……………三

四、船員保險法施行令……………三

五、船員保險法施行規則……………五

六、船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件……………一六

七、臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル船員保險ノ被保險者ノ資格得喪届出等ニ關スル件……………一四

八、内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件……………一五

九、船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指定……………一四

一〇、船員保險ノ保險料率……………一



二

- 一一、船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準ズベキモノノ指定ノ件……………一五〇
- 一二、船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依ル共濟組合ノ指定……………一五〇
- 一三、船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件……………一五二
- 一四、船員保險審査會ノ名稱、位置及管轄區域……………一五三
- 一五、船員保險法施行令第四十九條ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請又ハ請求  
ヲ地方長官以外ノモノガ受取リタルモノニ付テノ保險給付ニ關スル決定ニ  
不服アル場合ニ於テ其ノ審査ヲ爲ス第一次船員保險審査會ノ指定……………一五四
- 一六、船員保險審査會職員旅費手當支給規則……………一五五
- 一七、口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件……………一五七
- 一八、船員保險事務取扱規程……………一五八
- 一九、船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スルノ件……………一七五
- 二〇、朝鮮船員保險法施行規則……………一七五
- 二一、臺灣船員保險法施行規則……………一四六
- 二二、關東州船員保險令……………一〇一

- 二三、關東州船員保險令施行規則……………一〇五
- 二四、船員保險事務共助ニ關スル件……………一〇一
- 二五、船員保險事務共助ニ關スル勅令施行ニ關スル件……………一〇一
- 二六、船員保險特別會計法……………一〇三
- 二七、船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律……………一〇四
- 二八、船員保險特別會計規則……………一〇六
- 二九、船員保險特別會計法第一條第二項ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府及臺灣  
總督府ノ各特別會計ニ所屬セシムル歲入歲出ノ件……………一〇九
- 三〇、昭和十五年法律第十四號第二條及第三條ノ規定ニ依リ支出金及收入ノ額ヲ  
定ムルノ件……………一四〇
- 三一、船員保險、關東局、朝鮮總督府及臺灣總督府ノ各特別會計並ニ指定共濟組  
合間ノ船員保險ニ關スル積立ツベキ金額ノ繰入ニ關スル件……………一四一
- 三二、船員保險特別會計事務取扱規程……………一四三
- 三三、船員法其ノ他關係法令拔萃……………一四八

三

(一) 船員法	四八
(二) 船員法施行令	四二
(三) 船員法施行規則	四四
(四) 船舶法	四七
(五) 船舶法施行細則	四九
(六) 船舶安全法施行規則	四三
(七) 漁船特殊規則	四六
(八) 船舶職員法	四九
三四、廳府縣健康保險出張所ノ名稱、位置及管轄區域	四四
三五、船員保險ノ事務ヲ行フ管海官廳ノ名稱、位置及管轄區域	四五
三六、管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村及之ニ準ズルモノ	四五

# 一 船員保險法

(昭和十四年四月六日  
法律第七十三號)

## 第一章 總 則

- 第一條 船員保險ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病、負傷、老齡、癱疾、脫退又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス
- 第二條 船員保險ハ政府之ヲ管掌ス
- 第三條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ船員ガ職務執行ノ對償トシテ船舶所有者ヨリ受クル給料及之ニ準ズベキモノヲ謂フ
- 第四條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス



標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及療養費、傷病手當

船員保險法

金、癡疾手當金又ハ死亡手當金ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキ、養老年金、癡疾年金、脱退手當金又ハ第三十六條、第三十七條、第四十二條若ハ第四十九條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クル權利ハ五年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條 船員保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第八條 行政官廳又ハ保險給付ヲ受クベキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第九條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ヲシテ其ノ雇傭スル者ノ異動及報酬ニ關シ報告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他船員保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者トアルハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人トス

第十一條 船舶ガ滅失又ハ沈没シタル際現ニ其ノ船舶ニ乗組ム被保險者又ハ其ノ船舶ニ乗組中被

保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶内ニ在ル者ガ滅失又ハ沈没ノ日ヨリ三月間其ノ生死分明ナラザルトキハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ期間滿了ノ日ニ死亡シタルモノト推定ス

船舶ノ存否ガ一月間分明ナラザルトキハ船舶ハ滅失シタルモノト推定ス

第一項ノ規定ハ被保險者又ハ船舶ニ乗組中被保險者ノ資格ヲ喪失シ引續キ船舶内ニ在ル者ガ船舶航行中行方不明ト爲リタル場合ニ於テ三月間生死分明ナラザルトキニ之ヲ準用ス

第十二條 保險料ヲ滯納スル者アルトキハ行政官廳ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滞金ヲ徵收ス

第一項ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ行政官廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ徵收金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ交付スベシ

第十三條 保険料其ノ他本法ニ依ル徴收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ

徴收金ニ次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十四條 保険料其ノ他本法ニ依ル徴收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徴收法第四條ノ七及

第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十五條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乗組ム船員

ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十六條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

### 第二章 被 保 險 者

第十七條 船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシテ本法施行地ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニ

乗組ムモノハ船員保險ノ被保險者トス但シ左ニ掲グル者ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者ニ雇傭セラレザル者
- 二 官吏又ハ待遇官吏（俸給給料ヲ受ケザル者ヲ除ク）
- 三 前二號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第十八條 被保險者ハ船舶ニ乗組ミタル日、前條各號ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ取得シタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十九條 被保險者ハ死亡シタル日、船舶ニ乗組マザルニ至リタル日、第十七條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル日又ハ日本ノ國籍ヲ失ヒタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 十年以上十五年未満被保險者タリシ者ガ被保險者タラザルニ至リタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ其ノ者ガ日本ノ國籍ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル被保險者ニ對シテハ老齡又ハ脱退ニ關スル保險給付ニ限り之ヲ爲スモノトス  
第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間ト前條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間トヲ合算シテ十五年ニ達シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合及日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ニ之ヲ準用ス

### 第三章 保險 給付

#### 第一節 總 則

第二十二條 被保險者タリシ期間ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ヨリ之ヲ起算シ其ノ資格ヲ喪失シタル月ノ前月ヲ以テ終ル但シ十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ計算ス

十六日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ月ハ半月トシテ之ヲ被保險者タリシ期間ニ加算ス

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ其ノ資格ヲ取得シタル者ニ對シテ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ハ之ヲ合算ス但シ脫退手當金ノ支給ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ハ之ヲ合算セズ

前項但書ノ規定ハ第四十九條ノ規定ニ依リ差額ノ支給ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受ケベキ遺族ノ範圍及順位ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 養老年金及廢疾年金ノ支給ハ之ヲ支給スベキ事由ノ生ジタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第二十五條 政府ハ事故ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ保險給付ヲ受クベキ者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第二十六條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セズ但シ養老年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ差押フルコトヲ得ズ

#### 第二節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ス但シ被保險者ノ資格喪失前ノ疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ヲ除クノ外被保險者ノ資格喪失後ニ發シタル疾病又ハ負傷ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病又ハ負傷ニハ之ヲ適用セズ

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得

第二十九條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第三十條 被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付被保險者ノ資格喪失當時ノ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

一 療養ノ給付ヲ受クルトキ

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ疾病又ハ負傷ニ關シ扶助ヲ受クルトキ

第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シテ支給スベキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第三十二條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付

其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サズ

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第三十三條 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間經過後療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ開始ス

### 第三節 養 老 年 金

第三十四條 十五年以上被保險者タリシ者ガ其ノ資格ヲ喪失シタル後五十歳ヲ超エタルトキ又ハ五十歳ヲ超エ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄養老年金ヲ支給ス

第三十五條 養老年金ノ額ハ被保險者タリシ期間十五年以上十六年未滿ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ



増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

被保險者タリシ期間四十年ヲ超ユル者ニ支給スベキ養老年金ノ額ハ之ヲ被保險者タリシ期間四十年トシテ計算ス

第三十六條 養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル養老年金ノ總額ガ養老年金ノ五年分ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十七條 十五年以上被保險者タリシ者ガ養老年金ノ支給ヲ受クルコトナクシテ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ者ガ支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ養老年金ノ五年分ニ相當スル金額ヲ一時金トシテ其ノ遺族ニ支給ス

第三十八條 傷病手當金又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手當ノ支給ヲ受クル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間養老年金ノ支給ヲ停止ス

第三十九條 養老年金ノ支給ヲ受クル者被保險者ト爲リタルトキハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ

停止ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル被保險者ガ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ改定ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ額ガ従前ノ養老年金ノ額ヨリ少キトキハ従前ノ養老年金ノ額ヲ以テ改定養老年金ノ額トス

第四節 癱疾年金及癱疾手當金

第四十條 被保險者ノ資格喪失前六年間ニ三年以上被保險者タリシ者ノ資格喪失前ニ發シタル疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ガ勅令ノ定ムル期間内ニ治癒シタル場合又ハ治癒セザルモ其ノ期間ヲ經過シタル場合ニ於テ勅令ノ定ムル程度ノ癱疾ノ状態ニ在ル者ニハ其ノ程度ニ應ジ其ノ者ノ死亡ニ至ル迄癱疾年金ヲ支給シ又ハ一時金トシテ癱疾手當金ヲ支給ス

第四十一條 癱疾年金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ二十五ニ相當スル金額トシ被保險者タリシ期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第三十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

癱疾手當金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七月分ニ相當スル金額トス

第四十二條 癱疾年金ノ支給ヲ受クル者ガ死亡シタル場合ニ於テハ左ノ區別ニ依ル金額ヲ一時金

トシテ其ノ遺族ニ支給ス

一 被保險者タリシ期間ガ十五年未滿ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額ガ被保險者ノ資格喪失ノ際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脱退手當金及被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ七月分ノ合算額（被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ヲ超ユルトキハ十三月分ニ止ム）ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額

二 被保險者タリシ期間ガ十五年以上ナル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額ガ癱疾年金ノ五年分ニ相當スル金額ニ滿タザルトキハ其ノ差額

第四十三條 養老年金及癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一ヲ支給ス

第四十四條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ癱疾年金ヲ受クル程度ノ癱疾ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ爾後癱疾年金ヲ支給セズ

第四十五條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ癱疾手當金ヲ支給セズ

第五節 脱退手當金

第四十六條 三年以上十五年未滿被保險者タリシ者ガ死亡シタルトキ又ハ其ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ト爲ルコトナクシテ一年六月ヲ經過シタルトキハ脱退手當金ヲ支給ス但シ其ノ者ガ癱疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スルトキハ一年六月ヲ經過セザル場合ト雖モ之ヲ支給ス

第四十七條 脱退手當金ノ額ハ左ノ區別ニ依ル但シ癱疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スベキ額ハ癱疾手當金ノ額ト合算シテ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十三月分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 被保險者タリシ期間三年以上四年未滿ナル者ニ對シテハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月半分ニ相當スル金額
- 二 被保險者タリシ期間四年以上九年未滿ナル者ニ對シテハ其ノ期間三年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ半月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額
- 三 被保險者タリシ期間九年以上ナル者ニ對シテハ其ノ期間八年以上一年ヲ増ス毎ニ前號ノ規定ニ依リ其ノ期間八年以上九年未滿ノ者ノ支給ヲ受クベキ金額ニ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

第四十八條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ脱退手當金ヲ支給セズ

第四十九條 癱疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ第四十四條ノ規定ニ依リ癱疾年金ノ支給ヲ受ケザルニ至リタル場合ニ於テ既ニ支給ヲ受ケタル癱疾年金ノ總額ガ其ノ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際支給ヲ受クルコトヲ得ベカリシ脱退手當金ノ額ニ滿タザルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第六節 死亡手當金

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ三年以上被保險者タリシトキハ其ノ遺族ニ對シ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ三月分ニ相當スル死亡手當金ヲ支給ス但シ其ノ金額ガ百圓ニ滿タザルトキハ之ヲ百圓トス

- 一 被保險者ガ死亡シタルトキ
- 二 被保險者タリシ者ガ其ノ資格喪失後三月以内ニ死亡シタルトキ
- 三 被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノガ死亡シタルトキ

第七節 保險給付ノ制限

第五十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ自己ノ故意ノ犯罪行為ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生

ゼシメタルトキハ療養ノ給付又ハ傷病手當金、癱疾年金、癱疾手當金若ハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サズ

第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ノ支給ヲ受クベキ者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ故意ニ死ニ致シタルトキハ其ノ者ニ對シテハ支給ヲ爲サズ此ノ場合ニ於テ後順位者アルトキハ其ノ者ニ支給ヲ爲ス

第五十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ鬭爭、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ、故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハザルニ因リ又ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザルニ因リ事故ヲ生ゼシメタルトキハ傷病手當金、癱疾年金又ハ癱疾手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第五十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲サズ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
- 二 本法施行地外ニ在ルトキ
- 三 船舶内ニ在ルトキ

- 四 矯正院其ノ他之ニ準ズベキモノニ入院セシメラレタトキ
  - 五 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ
  - 六 健康保險又ハ職員健康保險ニ於テ之ニ相當スル保險給付ヲ受クルトキ
- 他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ診療所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サズ

第三十一條ノ規定ハ前項ニ掲グル者ニ之ヲ準用ス

第五十四條 正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザル者ニ對シテハ傷病手當金ノ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第五十五條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第五十六條 療養ノ給付又ハ傷病手當金若ハ癱疾年金ノ支給ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ診斷ヲ行フコトヲ得

正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ受ケザル者ニ對シテハ療養ノ給付ノ全部若ハ一部又ハ傷病手當金、癱疾年金若ハ癱疾手當金ノ全部若ハ一部ノ支給ヲ爲サザルコトヲ得

第五十七條 養老年金又ハ癱疾年金ヲ受クル者ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ身分關係ノ異動及癱疾狀態ノ繼續ノ有無ニ關シ其ノ者ヲシテ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ書類ヲ提出セザル者ニ對シテハ養老年金又ハ癱疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトヲ得

#### 第四章 費用ノ負擔

第五十八條 國庫ハ療養ノ給付及傷病手當金ヲ除クノ外保險給付ニ要スル費用ノ五分ノ一ヲ負擔ス

國庫ハ前項ニ規定スル費用ノ外毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ船員保險事業ノ事務ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔ス

第五十九條 政府ハ船員保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徵收ス

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 被保險者及被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第六十一條 船舶所有者ハ其ノ雇傭スル被保險者ノ負擔スベキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ

第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十二條 船舶所有者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スベキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フベキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

### 第五章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ第二次船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第二次船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第六十六條 本法ニ規定スルモノノ外船員保險審査會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第六十七條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ準用ス

### 第六章 罰 則

第六十八條 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲サザル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 船舶所有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第七十條 第六十八條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成

年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七章 雜 則

第七十一條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 關東州船員令ニ依ル船員タリシ者ガ被保險者ト爲リタル場合又ハ被保險者タリシ者ガ關東州船員令ニ依ル船員ト爲リタル場合ノ保險給付ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定竝ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令ヲ以テ指定スル日前十五年間ニ於テ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ五年以上船舶ニ乗組ミタル者ガ四十五歳ヲ超エ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テ同日前十五年間ニ於テ船舶ニ乗組ミタル期間ト被保險者タリシ期間トヲ合算シ十五年以上ニ達スルモ十五年以上被保險者タリシ者ニ非ザルトキハ其ノ者ニ對スル脱退手當金ノ支給條件及其ノ額ニ付テハ第四十六條及第四十七條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

一 船員保險法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十五年二月二十三日  
勅令第六十四號)

船員保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

三 船員保險法ノ一部施行期日ニ關スル件

(昭和十五年五月三十一日  
勅令第三百六十三號)

船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 四 船員保險法施行令

(昭和十五年二月二十三日  
勅令第六十六號)

#### 第一章 總 則

第一條 船員保險法第三條第一項ノ給料ニ準ズベキモノノ範圍ハ左ニ掲グルモノトス

一 職 長 手 當

二 勤 續 手 當

三 機 關 部 手 當

四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條 給料ニ準ズベキモノノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ保險院長官ノ定ムル標準價格ニ依リ之ヲ算定ス

第三條 船員保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬額			報 酬 月 額
	年 額	月 額	日 額	
第一級	百八十圓	十五圓	五十錢	二十圓未滿
第二級	三百圓	二十五圓	八十錢	二十圓以上三十圓未滿
第三級	四百二十圓	三十五圓	一圓二十錢	三十圓以上四十圓未滿
第四級	五百四十圓	四十五圓	一圓五十錢	四十圓以上五十圓未滿
第五級	六百六十圓	五十五圓	一圓八十錢	五十圓以上六十圓未滿
第六級	七百八十圓	六十五圓	二圓二十錢	六十圓以上七十圓未滿
第七級	九百圓	七十五圓	二圓五十錢	七十圓以上八十圓未滿
第八級	千二十圓	八十五圓	二圓八十錢	八十圓以上九十圓未滿
第九級	千二百圓	百圓	三圓三十錢	九十圓以上百十圓未滿
第十級	千四百四十圓	百二十圓	四圓	百十圓以上百三十圓未滿
第十一級	千六百八十圓	百四十圓	四圓七十錢	百三十圓以上百五十圓以下
第十二級	千八百圓	百五十圓	五圓	百五十圓ヲ超ユルモノ

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月（報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月）ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ引續キ従前ノ標準報酬ニ依ル但シ其ノ者ノ申請ニ依リ標準報酬ヲ減額スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ減額スル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

- 一 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一
- 二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル月額
- 三 日ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル日額ノ三十倍
- 四 前三號ノ外一定ノ期間ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬決定ノ日ノ現在ニ於ケル其ノ報酬ノ額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シテ得タル額ノ三十倍
- 五 歩合ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ同様ノ船舶ニ於テ同様ノ勞務ニ従事スル者ガ通常ノ

場合ニ於テ受クベキ額ヲ標準トシテ算定シタル額

六 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ保險院長官ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ算定ス

第六條 船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依リ保險料納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險院長官ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徵收ス

船員保險法第十二條第三項及第四項ノ規定中行政官廳トアルハ保險料滞納者ノ住所地又ハ其ノ者ノ財産ノ在ル地ヲ管轄スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ）トス

第七條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ



- 一 納入ノ告知書一通ノ徴收金額十圓未滿ナルトキ
  - 二 納期ヲ繰上ガ徴收ヲ爲ストキ
  - 三 納付義務者ノ住所及居所ガ帝國內ニ在ラザル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ
- 督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徴收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徴收セズ

第八條 國ガ船舶所有者タル船舶ニ乗組ム被保險者ガ厚生大臣ノ指定シタル共濟組合ヨリ保險給付ニ相當スル給付ヲ受クルトキハ其ノ者ニ對シテハ保險給付ヲ爲サズ

前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル共濟組合ハ左ノ要件ヲ具フルモノニ限ル

- 一 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ種類ガ保險給付ノ種類ヲ包含シ其ノ給付ガ同種ノ保險給付ト同程度ナルコト
- 二 被保險者タル組合員ニ對スル給付ノ中保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用ニ付國ガ船員

保險法ニ依リ國庫及船舶所有者トシテ爲ス負擔ト同一ノ割合ヲ下ラザル負擔ヲ爲スコト

第九條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徴收セズ

第十條 第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者若ハ被保險者タリシ者ガ

第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラザル被保險者ト爲リタル場合又ハ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラザル被保險者若ハ被保險者タリシ者ガ第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ厚生大臣之ヲ定ム

第十一條 管海官廳及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準ズル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船員保險ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

## 第二章 被保險者

第十二條 漁船ニ乗組ム船員ニシテ左ニ掲グル者以外ノ者ハ船員保險法第十七條第三號ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノトス

- 一 汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業（東徑百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員但シ母船式蟹漁業又ハ母船式鮭鱒漁業ニ従事スル附屬漁船ニ乗組ム船員ヲ除ク
- 二 専ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業務ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員

船員保險法施行令

三 漁業ニ關スル試験、調査、指導、練習又ハ取締業務ニ従事スル漁船ニ乗組ム船員但シ臨時ニ雇傭セラルル船員ヲ除ク

第十三條 十年以上十五年未滿被保險者タリシ者ハ被保險者タラザルニ至リタル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル日ヨリ三月以内ニ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ保險院長官ニ於テ正當ノ理由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得

第一項ノ申請ヲ爲シタル者ガ初テ納付スベキ保險料ニ付第十四條第一號ニ掲グル事實アリタルトキハ繼續シテ其ノ被保險者ト爲ラザリシモノト看做ス

第十四條 船員保險法第二十一條第一項ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

一 保險料ヲ滯納シ船員保險法第十二條第一項ノ規定ニ依ル指定ノ期限迄ニ其ノ保險料ヲ納付セザルトキ

二 船員保險法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ

三 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル申請ヲ爲シタルトキ

### 第三章 保險給付

第十五條 船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ受クベキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同ジ）トシ配偶者ナキ場合ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ直系卑屬又ハ直系尊屬トシ其ノ順位ハ親等ノ近キ者ヲ先ニシ卑屬ト尊屬ト親等相同ジキトキハ卑屬ヲ先ニス

第十六條 前條ニ定メタル同順位者ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ規定ニ依ル  
一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人（之ニ準ズベキ者ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス

二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス

三 直系卑屬ニ付テハ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニシ嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

四 前二號ニ掲グル事項ニ付相同ジキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第十七條 第十五條ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ掲グル順位ニ依リ船員保險法第三十六條、第三十七條若ハ第四十二條ノ規定ニ依ル一時金又ハ死亡手當金ヲ支給ス但シ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ遺言又ハ保險院長官ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左ニ掲グル者ノ中人ヲ特ニ指定シタルトキハ之ニ從フ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人又ハ戸主

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ兄弟姉妹ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一ノ家ニ在リタルモノ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者

第十八條 船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ左ノ如シ

一 診 察

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給

三 處置、手術其ノ他ノ治療

四 看 護

五 移 送

前項第三號ノ給付ハ緊急ノ場合其ノ他地方長官ガ必要アリト認ムル場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回二十圓以下ノモノニ限ル

第一項第四號及第五號ノ給付ハ地方長官ガ必要アリト認ムルモノニ限ル

第十九條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

被保險者タリシ者ガ前項ノ規定ニ依リ醫師又ハ齒科醫師ヲ選定シタルトキハ地方長官ノ承認アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第二十條 前條ニ規定スル醫師又ハ齒科醫師ガ處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第二十一條 被保險者タリシ者ハ左ノ各號ニ規定スル期間内ニ療養ノ給付ヲ受ケザルトキハ爾後之ヲ受クルコトヲ得ズ但シ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ已ムコトヲ得ザルモノト認メラルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クベキ場合ニ於テハ之ヲ受クルコト

ヲ得ベキ期間ヲ經過シタル日後十日以内

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルコトヲ得ザル者ガ被保險者タリシ期間中療養ノ給付ヲ受ケザリシ場合ニ於テハ被保險者タル資格ヲ喪失シタル日後十日以内

第二十二條 報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル被保險者タリシ者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルモノニハ船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サズ

一 事務長

二 醫師

三 無線通信士

四 通譯

五 船舶職員以外ノ運轉士又ハ機關士ニシテ海技免狀ヲ有スルモノ

六 其ノ他厚生大臣ニ於テ前各號ノ者ニ準ズト認ムル者

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船員保險法第二十九條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 地方長官ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ地方長官ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セザル醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ緊急ノ場合ニ於テ地方長官ノ指定セザル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十四條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヲ標準トシテ地方長官之ヲ定ス

第二十五條 第二十二條ノ規定ハ船員保險法第三十條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ヲ支給セザル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十ニ相當スル金額トス

第二十七條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依ル期間ハ船員保險法第二十八條第二項ニ規定スル者

コ付テハ被保險者ノ資格喪失ノ日ヨリ九月トシ其ノ他ノ者ニ付テハ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ期間トス

第二十八條 船員保險法第四十條ノ規定ニ依リ癱疾年金ヲ支給スベキ程度ノ癱疾ノ状態ハ別表第一ニ該當スルコトヲ要シ癱疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ癱疾ノ状態ハ別表第二ニ該當スルコトヲ要ス

第二十九條 第二十六條ノ規定ハ船員保險法第五十三條第二項ニ掲グル者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第三十條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險院長官ハ六月以内ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スベキ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ決定ハ保險院長官ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スベシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ内地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ於テハ第十八條第二項第三項、第十九條、第二十條、第二十三條及第二十四條中地方長官トア

ルハ保險院長官トス但シ事務ノ共助ヲ爲ス場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ必要アルトキハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

#### 第四章 費用ノ負擔

第三十二條 保險料額ハ毎月ニ付船員保險法第二十二條第一項及第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者タリシ期間ガ一月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トシ半月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額ノ半額トス  
被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於ケル其ノ月分ノ保險料額ハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額ノ半額トス  
保險料率ハ厚生大臣之ヲ定ム

第三十三條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ其ノ被保險者ト爲リタル月ノ保險料額ハ前條ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

第三十四條 船舶所有者ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ船員保險法第六十二條ノ規定ニ依リ被保險者ノ負擔スベキ前月分ノ保險料(支拂フ報酬ガ二月以上ノ期間ニ對

スルモノナルトキハ其ノ期間ニ係ル(保險料)ヲ其ノ報酬ヨリ控除スルコトヲ得被保險者ヲ雇傭セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料ヲモ控除スルコトヲ得

第三十五條 船舶所有者ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閱覽セシムベシ

第三十六條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スベシ但シ船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ納付スベキ保險料ニ付テハ厚生大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

保險院長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險院長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第三十七條 保險料納付義務者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

- 一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
  - 二 強制執行ヲ受クルトキ
  - 三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
  - 四 競賣ノ開始アリタルトキ
  - 五 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ
- 前項ノ規定ハ被保險者ノ乗組ム船舶ニ付船舶所有者ノ變更アリタル場合及被保險者ノ乗組ム船舶ガ滅失シ、沈没シ又ハ全ク運航ニ堪ヘザルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

### 第五章 船員保險審查會

#### 第一節 組 織

第三十八條 船員保險審查會ハ厚生大臣ノ監督ニ屬シ船員保險法第六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第三十九條 船員保險審查會ハ第一次船員保險審查會及第二次船員保險審查會トス

第一次船員保險審查會ノ管轄區域ハ厚生大臣之ヲ定メ第二次船員保險審查會ノ管轄區域ハ内地

船員保險法施行令

ノ區域トス

船員保險審査會ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第四十條 船員保險審査會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十一條 第一次船員保險審査會ノ會長ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ以テ、第

二次船員保險審査會ノ會長ハ保險院長官ヲ以テ之ニ充ツ

第四十二條 第一次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人

第二次船員保險審査會ノ委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 五人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 五人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 五人

第一項第一號ノ規定ニ依ル委員中一人ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第一項及第二項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者ガ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル場合ニ於テハ關係官公吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第四十三條 主トシテ船員保險ノ事務ニ従事スル官吏ハ船員保險審査會ノ委員タルコトヲ得ズ

船員保險審査會ノ委員ハ他ノ船員保險審査會ノ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第四十四條 第一次船員保險審査會ノ委員ハ第四十二條第三項ノ規定ニ依ル地方長官タル委員ヲ

除クノ外厚生大臣之ヲ命ジ第二次船員保險審査會ノ委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之

ヲ命ズ

第四十五條 委員ノ任期ハ官吏又ハ公吏トシテ委員タル者ヲ除クノ外三年トス但シ特別ノ事由ア

ル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

第四十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ第一次船員保險審査會ニ在リテハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官

ノ、第二次船員保險審査會ニ在リテハ厚生大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第四十七條 船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク

第一次船員保險審査會ノ幹事ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル廳府縣（東京府ヲ除ク以下之ニ同ジ）ノ官吏中ヨリ厚生大臣之ヲ命ジ第二次船員保險審査會ノ幹事ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ厚生部内ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第四十八條 船員保險審査會ニ書記ヲ置ク

第一次船員保險審査會ノ書記ハ其ノ審査會ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ於テ當該廳府縣ノ判任官中ヨリ之ヲ命ジ第二次船員保險審査會ノ書記ハ保險院ノ判任官中ヨリ厚生大臣之ヲ命ズ  
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二節 審査ノ手續

第四十九條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次船員保險審査會ニ審査ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官ガ受取リタルモノニ付テハ其ノ地方長官ノ管轄區域ヲ管轄スル第一次船員保險審査會ニ、其ノ保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官以外ノモノガ受取リタルモノニ付テハ厚生大臣ノ指定スル第一次船員保險審査會ニ之ヲ爲スベシ

第五十條 審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第四十二條第一項又ハ第二項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及ブ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十一條 審査ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
第五十二條 審査ハ文書ニ就キ之ヲ爲ス但シ必要アリト認ムルトキハ口頭審問ヲ爲スコトヲ妨グズ

前項但書ノ規定ニ依リ口頭審問ヲ爲ス爲出頭ヲ命ゼラレタル場合ニ於テ已ムコトヲ得ザル事故ノ爲出頭スルコトヲ得ザルトキハ當事者ハ其ノ法定代理人、親族又ハ同居者ヲシテ代リテ出頭セシムルコトヲ得

口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ給スルコトヲ得

第五十三條 審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ審査ノ請求ヲ爲スベカラザルモノナルトキ又ハ審査ノ請求ガ適法ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ船員保險審査會ハ決定ヲ以テ之ヲ却下スベシ



審査ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件ガ管轄違ナルトキハ之ヲ所轄船員保險審査會ニ移送スベシ

審査ノ請求ニシテ手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ船員保險審査會之ヲ補正セシムベシ

第五十四條 審査ハ之ヲ公開セズ但シ口頭審問ハ之ヲ公開ス

口頭審問ヲ爲ス場合ニ於テ議長必要アリト認ムルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラズ傍聽ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第五十五條 關係官吏ハ船員保險審査會ノ請求ニ依リ又ハ其ノ承認ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第五十六條 事件ノ一部ガ審査ノ決定ヲ爲スニ熟スルトキハ其ノ部分ニ付先ヅ決定ヲ爲スコトヲ得

第五十七條 審査ノ決定ハ理由ヲ附シ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十八條 審査請求人ガ審査ノ決定前ニ死亡シタルトキハ其ノ承繼人ニ於テ審査請求手續ヲ受繼グモノトス

第五十九條 本節ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

### 第六章 朝鮮及臺灣ニ關スル特例

第六十條 朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險法ノ施行ニ關シテハ本章ノ規定並ニ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第一章乃至第四章及第七章ノ規定ニ依ル

第六十一條 船員保險法中國稅徵收法トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅徵收令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法、臺灣ニ在リテハ臺灣國稅徵收規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル國稅徵收法トス  
同法中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ北海道、府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳トシ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄トス同法中民法又ハ船員法トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法又ハ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法トス

第六十二條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督トシ保險院長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長トシ府縣稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ道稅、臺灣ニ在リテハ州廳稅トス

本令中地方長官トアルハ第六條第三項ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トシ其ノ他ノ場合ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交道局總長トス

第十一條中及船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長又ハ之ニ準ズル者トアルハ朝鮮ニ在リテハ並ニ郵便局長及郵便所長トシ同條中市町村長又ハ之ニ準ズル者トアルハ臺灣ニ在リテハ市尹又ハ街庄長トス

第三十一條中内地トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮、臺灣ニ在リテハ臺灣トス  
本令中船員法又ハ第十二條第一號中機船底曳網漁業（東徑百三十度以東ノ海面ヲ操業區域トスルモノヲ除ク）トアルハ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法又ハ朝鮮總督ノ指定スル機船底曳網漁業トス

第六十三條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ朝鮮總督府裁判所ニ訴ヲ提起シ臺灣ニ在リテハ臺灣船員保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ臺灣總督府法院ニ訴ヲ提起スルコトヲ得  
前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第六十四條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ同法第十二條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ニ裁決ノ申請ヲ爲シ臺灣ニ在リテハ臺灣總督ニ訴願スルコトヲ得

第六十五條 保險料其ノ他船員保險法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ裁決ノ申請アリタルトキハ朝鮮總督ハ朝鮮船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲シ訴願ノ提起アリタルトキハ臺灣總督ハ臺灣船員保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第六十六條 第六十三條第一項ノ審査ノ請求若ハ訴ノ提起又ハ第六十四條ノ裁決ノ申請若ハ訴願ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テ朝鮮ニ在リテハ審査ノ請求ニ付宥恕スベキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ニ於テモ仍之ヲ受理スルコトヲ得ルモノトシ訴ノ提起ニ付テハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ臺灣ニ在リテハ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六十七條 朝鮮船員保險審査會ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ハ臺灣總督ノ監督ニ屬シ第

六十三條及第六十五條ノ審査ヲ爲ス

第六十八條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ハ各會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十九條 朝鮮船員保險審査會ノ會長ハ朝鮮總督府遞信局長ヲ以テ、臺灣船員保險審査會ノ會長ハ臺灣總督府交通局總長ヲ以テ之ニ充ツ

第七十條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ委員ハ各左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 官吏、公吏又ハ學識經驗アル者 三人

二 被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者 三人

三 被保險者側ヲ代表シ得ル者 三人

前項ニ於テ被保險者ヲ雇傭スル船舶所有者トアルハ船舶所有者ガ國ナル場合ニ於テハ關係官吏トシ公共團體ナル場合ニ於テハ關係官吏、其ノ他ノ法人ナル場合ニ於テハ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ支配人トス

第七十一條 朝鮮船員保險審査會ノ委員ハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ノ委員ハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第七十二條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ、臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第七十三條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ幹事ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督ノ奏請ニ依リ朝鮮總督府遞信官署ノ高等官中ヨリ臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督ノ奏請ニ依リ臺灣總督府交通局ノ高等官中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ  
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七十四條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ書記ヲ置ク朝鮮船員保險審査會ニ在リテハ朝鮮總督府遞信官署ノ判任官中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ジ臺灣船員保險審査會ニ在リテハ臺灣總督府交通局ノ判任官中ヨリ臺灣總督之ヲ命ズ  
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七十五條 朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ノ審査ハ委員定數ノ半數以上出席シ且第七十條第一項各號ノ委員各一人以上出席スルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ及ブ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條 第四十三條第一項、第四十五條、第五十一條、第五十二條、第五十三條第一項第三項

及第五十四條乃至第五十八條ノ規定ハ朝鮮船員保險審査會及臺灣船員保險審査會ニ之ヲ準用ス  
第七十七條 本章ニ規定スルモノノ外審査ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣  
ニ在リテハ臺灣總督之ヲ定ム

第七章 雜 則

第七十八條 一ノ地域（内地、朝鮮又ハ臺灣トス以下之ニ同ジ）ニ於テ船員保險ノ被保險者タリ  
シ期間ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ者ガ他ノ地域（内地、朝鮮若ハ臺灣ノ中當該地域以外ノモノ  
又ハ關東州トス以下之ニ同ジ）ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ被保險者タリシ  
期間ハ之ヲ當該地域ニ於テ船員保險ノ被保險者タリシ期間ト看做ス

第七十九條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ガ其ノ資格ヲ喪失スベキ原因タル事實ノ發生シタル  
日ニ於テ更ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ其ノ日ヨリ當該地域ノ船員保險  
ノ被保險者ノ資格ヲ喪失ス

第八十條 船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ガ他ノ地域ノ船員保  
險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ資格ヲ喪失ス

第八十一條 一ノ地域ニ於テ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條  
ノ規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助ヲ受クル者ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ  
當該地域ニ於テハ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲サズ

第八十二條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ於テ療養ノ給付ヲ受クル者ガ一ノ地域ニ於テ當該地  
域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ爲ストキ  
ハ他ノ地域ノ船員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ヲ當該地域ノ船  
員保險ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付ヲ始メタル日ト看做ス

第八十三條 疾病又ハ負傷ニ關シ他ノ地域ニ船籍港ヲ定ムル船舶ノ所有者ヨリ船員法（關東州船  
員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受ク  
ル者ガ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ關  
シテハ船員保險法第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 一ノ地域ニ於テ養老年金ノ支給ヲ受クル者ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リ  
タルトキハ當該地域ニ於テハ其ノ月ヨリ養老年金ノ支給ヲ爲サズ

第八十五條 船員保險法第三十九條第二項及第三項ノ規定ハ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險

ノ被保險者ト爲リタル爲前條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ他ノ地域ノ船員保險ノ養老年金ノ支給ヲ爲サレザルニ至リタル者ガ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ガ其ノ資格喪失後一年六月以内ニ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ當該地域ニ於テハ脫退手當金ノ支給ヲ爲サズ但シ其ノ者ガ廢疾手當金ヲ受クル權利ヲ有スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十七條 一ノ地域ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ガ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル後死亡シタルトキハ當該地域ニ於テハ死亡手當金ノ支給ヲ爲サズ

第八十八條 他ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ一ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラザル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ一ノ地域ガ内地ナルトキハ厚生大臣、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督、臺灣ナルトキハ臺灣總督之ヲ定メ、一ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タラザル被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ他ノ地域ニ於ケル第八條ノ規定（關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法

令ノ規定）ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者ト爲リタル場合ニ於テ必要ナル規定ハ一ノ地域ガ内地ナルトキハ厚生大臣、朝鮮ナルトキハ朝鮮總督、臺灣ナルトキハ臺灣總督之ヲ定ム

#### 附 則

本令ハ昭和十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年五月一日ニ於テ現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者ニ對スル標準報酬ハ第四條第一項ノ規定ニ拘ラズ同日ノ現在ニ於リ之ヲ定ム但シ其ノ者ガ昭和十五年五月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

船員保險法附則第二項中勅令ヲ以テ指定スル日トハ船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日トス

船員保險法附則第二項ノ規定ニ依リ支給スベキ脫退手當金ハ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ニ別表第三ニ定ムル月數ヲ乘ジテ得タル金額トス但シ廢疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スベキ額ハ廢疾手當金ノ額ト合算シテ被保險者タリシ全期間ノ平均報酬月額ノ十五分ニ相當スル金

額ヲ超ユルコトヲ得ズ  
 船員保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日前十五年間ニ於テ他ノ地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル者ノ其ノ乗組ミタル期間ハ其ノ者ガ一ノ地域ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ之ヲ當該地域ノ船員保險ニ於テハ同日前五年間ニ於テ當該地域ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ト看做シ同法附則第二項ノ規定ヲ適用ス

別表 第一

番 號	癱疾年金ヲ支給スベキ程度ノ癱疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減ジタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ癱シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳鼓ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ

番 號	癱疾年金ヲ支給スベキ程度ノ癱疾ノ狀態
四	脊柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ヲ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中二關節以上ノ用ヲ癱シタルモノ又ハ十指ノ用ヲ癱シタルモノ
七	一下肢ヲ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中二關節以上ノ用ヲ癱シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十	精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十一	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

備 考

- 一 視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異常アルモノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス
- 二 指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節其ノ他ノ指ハ第一指關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ

船員保險法施行令

- 三 指ノ用ヲ廢シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節（拇指ニ在リテハ指關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ
- 四 趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 五 趾ノ用ヲ廢シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半以上、其ノ他ノ趾ハ末關節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一趾關節（第一趾ニ在リテハ趾關節）ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

別表 第二

番號	廢疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ廢疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ
二	兩眼ニ半盲症視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十種以上ニテハ尋常ノ話聲ヲ解シ得ザルモノ又ハ一耳ノ聽力耳殼ニ接セザレバ大聲ヲ解シ得ザルモノ

六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ
七	一手ノ一指以上ヲ失ヒタルモノ（中指、環指又ハ小指ノミヲ失ヒタルモノヲ除ク）又ハ一手ノ拇指ノ用ヲ廢シタルモノ、示指ヲ併セ二指ノ用ヲ廢シタルモノ若ハ拇指及示指以外ノ三指ノ用ヲ廢シタルモノ
八	一上肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一上肢ニ假關節ヲ殘スモノ
九	一下肢ヲ三種以上短縮シタルモノ
十	一下肢ノ三大關節中ノ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一下肢ニ假關節ヲ殘スモノ
十一	十趾ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十二	胸腹部臟器ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十三	精神ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十四	神經系統ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十五	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ船員トシテ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ





ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

一 船舶所有者ノ氏名及住所（船舶所有者ガ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下之ニ同ジ）

二 船舶ノ名稱及種類

三 船舶番號

四 船籍港

五 船舶ノ用途

六 船舶ノ總噸數

七 船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）

八 常時ニ於ケル乗組員ノ概數

九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ

乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由

第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者、所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ第三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ者アル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラズ

一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱及種類

三 船舶番號

四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 新舊船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱及種類

船員保險法施行規則

三 船舶番號

四 船籍港

五 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

六 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條 船舶所有者ハ被保險者ノ乗組ム船舶ノ名稱、種類、船籍港、用途、總噸數若ハ航行區域

(漁船ニ在リテハ業務ノ種類) 又ハ船舶所有者ノ氏名若ハ住所ニ變更アリタルトキハ左ニ掲グ

ル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲

シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱

三 變更前ノ事項及變更後ノ事項竝ニ變更ノ年月日

第五條 船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載

シタル届書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 船舶所有者ノ氏名及住所

二 船舶ノ名稱

三 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ現在ノ送付先

四 保險料納入告知書ノ希望スル送付先

第六條 第一條乃至前條ノ届書ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警

視總監以下之ニ同ジ)ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第二節 被保險者ノ資格

第七條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當

時船員保險法施行令(以下令ト稱ス)第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟

組合ト稱ス)ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際指定共濟

組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者

ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲グル事項ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

一 朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別

二 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所但シ船員保

船員保險法施行規則

險法（關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ最後ニ被保險者（朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム）ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ナルトキハ其ノ者ハ其ノ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

第八條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ様式第一號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スベシ

第九條 船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ様式第二號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ガ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲グル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲グル船員ガ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ

掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ様式第三號ニ依ル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

第十一條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳（管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準ズル者、市尹及街庄長並ニ帝國ノ領事官及貿易事務官ヲ含ム）ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得及喪失ノ届出並ニ職務及報酬月額ノ變更ノ届出ニ關シテハ前三條ノ規定ニ拘ラズ別ニ定ムル所ニ依ル

第十二條 被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ申出ヅベシ

第十三條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ

- 一 船舶所有者ノ氏名及住所
- 二 被保險者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶ノ名稱

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十四條 船員保險法（以下法ト稱ス）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保險者資格喪失ノ年月日

三 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 被保險者資格喪失ノ際指定共濟組合ノ組合員タル者ナルトキハ其ノ共濟組合ノ名稱

五 令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十五條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 變更前ノ氏名又ハ住所變更ノ年月日

第十六條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル者ハ其ノ申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

第三節 標準報酬

第十七條 第八條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十八條 第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ届出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十九條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官及ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ

被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケザルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ

第二十條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務

ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルモノナルトキハ船舶所有者ハ直ニ之ヲ變更スベシ

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ變更ガ不當ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 船舶所有者ハ第十七條若ハ第十八條ノ通知ヲ受ケタルトキ、第十九條第一項若ハ第二項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ前條第一項ノ變更ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スベシ第十九條第三項又ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十二條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立又ハ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長、市町村長ニ準ズル者、市尹及街庄長ヲ含ム)ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十三條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 現在ノ標準報酬ノ等級

三 希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十四條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スベシ

## 第二章 保險 給付

### 第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十四條 養療ノ給付ハ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタス船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ規定ニ依ル扶助ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ベキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ同令第十五條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタ

船員保險法施行規則

ル船員法施行令第十五條ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當(船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同ジ)ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ベキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十五條 被保險者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ様式第四號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クベシ  
船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳(管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及市町村長ニ準ズル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スベシ

船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ押捺スベシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シタル疾病又ハ負

傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ返納スベシ  
船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタルトキハ之ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ

第二十六條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ保險醫ニ提示スベシ

第二十七條 保險醫ハ初テ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ提示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スベシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クベシ但シ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受クルモノニ在リテハ此ノ限りニ在ラズ

被保險者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケザリシトキハ其ノ船舶所有者

ヨリ診療券ノ交付ヲ受クベシ

第二十五條第二項及第四項ノ規定ハ船舶所有者ガ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル請求書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
  - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
  - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
  - 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
  - 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
  - 六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日
- 前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲グル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添附ス

ベシ

第三十條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券(第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券)ヲ保險醫ニ提出スベシ

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セララル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ツベシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受クルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク第六號ニ掲グル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

- 四 療養ノ給付開始ノ年月日
- 五 當該疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル事實竝ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地
- 第三十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スベシ
- 第三十三條 保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師法施行規則第九條ノ三又ハ齒科醫師法施行規則第八條ノ三ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スベシ
- 第三十四條 被保險者タリシ者ハ保險醫變更ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ
- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

- 三 療養ノ給付開始ノ年月日
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險ノ氏名及診療所所在地
- 五 保險醫ノ變更ヲ必要トスル事由
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項
- 保險醫變更ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ様式第六號ニ依ルベシ
- 第三十五條 前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ交付シタル保險醫變更ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス
- 第三十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第三號(一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル)乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫)ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラ



ズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滯ナク左ニ掲グル事項及已ムヲ得ザル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三 療養ノ給付開始ノ年月日（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨）

四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地）

五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

四號ニ掲グル事項

前項ノ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ内容及之ニ要スベキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベシ

令第十八條第一項第三號又ハ第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ合シテ爲スコトヲ得第一項但書ノ

規定ニ依ル届出ニ付亦同ジ

第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院セシトスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滯ナク第一號ニ掲グル事項及入院シタル診療所ノ名稱所在地並ニ已ムヲ得ザル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 前條第一項各號ニ掲グル事項

二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベシ

診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ様式第七號ニ依ルベシ  
第三十八條 地方長官ガ被保險者タリシ者ニ對シ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ地方長官ヨリ交付  
 フ受ケタル診療所入院ノ承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ  
 入院スベキ診療所ガ現ニ診療ヲ受ケタル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診  
 療所入院ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第四十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認  
 申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハザルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ  
 診療所ニ入院スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリ  
 シ者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官ニ遲滞ナク提出スベ  
 シ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 診療所入院ノ承認アリタル年月日
- 三 診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地
- 四 入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院ノ年月日

第四十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第二十三條第二號ノ規定ニ依ル承認ヲ受ケント  
 スルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ第八號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所  
 在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ  
 名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 三 職務及標準報酬ノ等級(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及  
 標準報酬ノ等級)

- 四 被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依  
 ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ旨
- 七 疾病又ハ負傷ノ經過

八 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地並ニ其ノ診療ヲ受ケントスル

事由

- 九 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノ開始アリタル者ニ在リテハ其ノ開始ノ年月日及其ノ際診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地（療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタル地方長官名）
  - 十 船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後承認ヲ受ケントスル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ期間ヲ經過シタル事由
  - 十一 當該疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨）
  - 十二 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラルベキ書類ノ送付先
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ之ヲ添付スルコトヲ要セズ

- 一 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 第二十五條第二項ノ規定ハ前項第二號（但書ヲ除ク）ニ掲グル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第四十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ療養費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ヲ診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ
- 第四十三條 令第二十三條第一號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
  - 一 第四十一條第一號第一號乃至第七號及第九號乃至第十二條ニ掲グル事項
  - 二 療養ノ給付ヲ受ケルコト困難ナル事由

- 三 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地
  - 四 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
- 前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付曾テ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルコトアルトキ又ハ療養費ノ支給ノ申請ヲ爲シタルコトアルトキハ第二號又ハ第三號ニ掲グル書類ヲ添付スルコトヲ要セズ
- 一 前項第四號ニ掲グル費用ノ額ニ關スル證憑書類
  - 二 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
  - 三 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ義務ナキコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ交付ヲ受ケタルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書
- 第二十五條第二項ノ規定ハ前項第三號(但書ヲ除ク)ニ掲グル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 令第二十三條第二號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 氏名生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
  - 二 受ケタル診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
  - 三 被保險者ニ在リテハ本條ノ申請ニ係ル療養費ニ關シ地方長官ヨリ發セラレベキ書類ノ送付先前項ノ申請書ニハ前項第二號ニ掲グル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添付スベシ
- 第四十五條 令第二十三條第三號ノ療養費ノ支給ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 第四十一條第一項第一號乃至第七號及第九號乃至第十二號ニ掲グル事項
  - 二 緊急ナリシコトノ事由
  - 三 手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所
  - 四 受ケタル手當ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

第四十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ申請書ニ之ヲ準用ス

第四十六條 被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第十一號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間
- 七 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日
- 八 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務ガ終了シタル場合ニ於テハ其ノ年月日
- 九 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ支給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ事由
- 十 診療所ニ收容セラレタル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱所在地及之ニ收容セラレタル期間竝ニ専ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、

生年月日及被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

- 十一 第六號ニ掲グル期間内ニ於テ當該疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請求書ニ付テハ第二號ニ掲グル書類ヲ添附スルコトヲ要セズ

一 前項第六號ニ掲グル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルト

キハ前項第四號、第八號及第九號ニ掲グル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ掲グル事項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定

第四十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二節 養 老 年 金

第四十九條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
  - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
  - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
  - 四 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
  - 五 第六十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ撰擇スル者ニ在リテハ其ノ旨
- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 戶籍ノ抄本又ハ戶籍ノ謄本

二 印鑑票

三 廢疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ請求書ニ同項第五號ニ掲グル事項ヲ記載シタルモノニ在リテハ其ノ證書

第五十條 養老年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

一 證書ノ記號番號

二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 養老年金ノ額

四 養老年金ノ支給開始ノ年月

第五十一條 養老年金ハ毎年一月、四月、七月及十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スベカリシ養老年金又ハ養老年金受給者ガ死亡シタル場合ニ於テ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第五十二條 養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書ヲ提示シテ其ノ支給ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ使用スベキ印章ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章タルコトヲ要ス

第五十三條 傷病手当金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ手当ノ支給ヲ受クル者ニハ法第三十八條ノ規定ニ依リ其ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベキ期間ニ係ル養老年金ノ支給ヲ停止ス

第五十四條 養老年金受給者ハ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スベシ但シ第五十七條第一項ノ請求書ニ同條同項第五號ニ掲グル事項ヲ記載スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 傷病手当金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手当ノ支給開始ノ年月日

第五十五條 養老年金受給者ハ第五十三條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項

ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 傷病手当金又ハ船員法施行令第十五條若ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手当ノ支給終了ノ年月日

第五十六條 養老年金受給者ハ被保險者トナリタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 被保險者資格取得ノ年月日

四 乗組ム船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

前項ノ規定ハ養老年金受給者ガ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ノ改定ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 被保險者資格喪失ノ年月日
- 四 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所
- 五 被保險者ノ資格喪失當時第五十三條ノ規定ニ該當スルトキハ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

前項ノ請求書ニハ養老年金證書ヲ添附スベシ

第五十八條 養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所
- 二 養老年金證書ノ記號番號
- 三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

前項ノ届書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一 養老年金證書
  - 二 戶籍ノ抄本又ハ氏名ノ變更ニ關スル市町村長ノ證明書
- 保險院長官ハ前項ノ届書ヲ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ届書ニ添附シアル養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ養老年金受給者ニ送付スベシ
- 第五十九條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所
  - 二 養老年金證書ノ記號番號
  - 三 變更前ノ住所及變更ノ年月日
- 第六十條 養老年金受給者ハ第四十九條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ押捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ保險院長官ニ提出スベシ
- 一 氏名及住所



二 養老年金證書ノ記號番號

第六十一條 養老年金受給者ハ毎年二月末日迄ニ前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル戸籍ノ抄本ヲ保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル戸籍ノ抄本ノ提出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ提出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第六十二條 養老年金受給者ハ養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル再交付ノ請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號番號

三 亡シタルトキハ其ノ事實

養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタル場合ノ再交付ノ請求ナルトキハ前項ノ請求書ニ其ノ養老年金證書ヲ添附スベシ

第六十三條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ養老年金證書ハ其ノ效力ヲ失フ

第六十四條 養老年金受給者ガ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ者ニ於テ法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ノ請求ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラズ

一 届出者ノ氏名及住所

二 養老年金受給者ノ氏名及養老年金證書ノ記號番號

三 養老年金受給者ノ死亡ノ年月日

前項ノ届書ニハ養老年金證書ヲ添附スベシ但シ之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ附記スベシ

第六十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十七條但書ノ規定ニ依リ法第三十六條又ハ第

三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受クベキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル豫告書ヲ保險院長官ニ提出スベシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一 豫告者ノ氏名、生年月日及住所

二 豫告者ガ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號番號

船員保險法施行規則

三 豫告者が養老年金受給者ニ非ザルトキハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日竝ニ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ現ニ被保險者タル者ニ在リテハ其ノ乗組ム船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 指定セラルル者ノ氏名、生年月日及住所竝ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ

一 指定セラルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スベキ書類

二 豫告書ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書

第六十六條 前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 前條第一項第一號乃至第三號ニ掲グル事項

二 指定セラレタル者ノ氏名

前項ノ届書ニハ之ニ押捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書ヲ添附スベシ

第六十七條 法第三十六條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 養老年金受給者ノ氏名及死亡ノ年月日

三 養老年金證書ノ記號番號

四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五 請求書ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

二 養老年金受給者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シアル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

三 請求者ガ養老年金受給者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナルトキハ其ノ事實

ヲ認メ得ベキ書類

四 請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

五 養老年金證書

第六十八條 法第三十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日

三 被保險者タリシ者ガ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所（不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨）

四 被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五 請求者ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者

ナシト認ムル旨

前條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

第三節 廢疾年金及廢疾手当金

第六十九條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ廢疾年金ハ之ヲ支給セズ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタル者ガ同時ニ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同ジ

廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第七十條 廢疾年金又ハ廢疾手当金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ規定スル期間經過ノ日（其ノ期間内ニ廢疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ガ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日）ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所

船員保險法施行規則

- 四 瘵疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ治瘵シタリヤ否ヤ及治瘵シタルトキハ其ノ年月日
  - 五 瘵疾ノ状態ノ程度
  - 六 瘵疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地
  - 七 瘵疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一 瘵疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書
  - 二 印鑑票
- 第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ
- 第七十一條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ瘵疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ保險院長官ハ請求者ニ瘵疾年金證書ヲ交付スベシ

第七十二條 瘵疾年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

- 一 證書ノ記號番號
- 二 瘵疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別
- 三 瘵疾年金ノ額
- 四 瘵疾年金ノ支給開始ノ年月

第七十三條 瘵疾年金受給者ハ毎年二月一日ノ現在ニ於ケル瘵疾ノ状態ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ同月末日迄ニ保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ瘵疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 氏名及住所
- 二 瘵疾年金證書ノ記號番號
- 三 瘵疾ノ状態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ掲グル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スベシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十七條第二項ノ規定ニ依リ廢疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルトアルベシ

第七十四條 廢疾年金受給者ハ其ノ廢疾ガ廢疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 廢疾年金證書ノ記號番號

三 廢疾ガ廢疾年金ヲ受ル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタル年月日(年月日ガ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日)

前項ノ届書ニハ廢疾年金證書ヲ添附スベシ

第一項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テノ其ノ期ノ疾廢年金ハ支給期月ニ拘ラズ之ヲ支給ス

第七十五條 第五十一條、第五十二條、第五十八條乃至第六十條及第六十二條乃至第六十四條ノ

規定ハ廢疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第七十六條 第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ法第四十二條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ

之ヲ準用ス

#### 第四節 脱退手當金

第七十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡シタル場合ニ於ケル脱退手當金ノ支給ヲ受ケ

ントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶

ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案

書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

二 請求者ガ請求權ヲ有スルコトヲ證スベキ書類

第七十八條 被保險者タリシ者ハ脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載

シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ。

- 一 氏名、生年月日及住所
  - 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
  - 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所
  - 四 第七十條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リテハ其ノ旨
- 第七十九條 第七十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ脱退手當金ヲ支給ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ脱退手當金ガ法附則第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ請求書ニ昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間(昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ記載シ且左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一 被保險者タリシ者ノ戶籍ノ抄本又ハ除カレタル戶籍ノ抄本
  - 二 昭和十五年六月一日前十五年間ニ於テ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル船員トシテ船舶ニ乗組ミタル期間ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又ハ其ノ期間ヲ證スベキ書類

第八十條 法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 氏名及住所
- 二 癱疾年金證書ノ記號番號
- 三 第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

第五節 死亡手當金

第八十一條 死亡手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 請求者ノ氏名及住所
- 二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日竝ニ死亡ノ年月日
- 三 被保險者又ハ被保險者タリシ者が死亡當時又ハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱竝ニ船舶所有者ノ氏名及住所(不詳ノ事項アルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者ノ資格ヲ喪失シ三月ヲ經過シタル後死亡シタル者ニ在リテハ死亡當時診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ氏名及住所

五 死亡ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所

(第三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十七條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨

七 請求者ガ令第十七條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

第六十七條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

被保險者タリシ者ニシテ療養ノ給付ヲ受クルモノガ死亡シタル場合ノ死亡手當金ノ支給ノ請求書ハ第一項第四號ニ掲グル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第八十二條 第六十五條及第六十六條ノ規定ハ死亡手當金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六節 雜 則

第八十三條 本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ船舶所有者若ハ市町

村長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十四條 船舶所有者ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添附スベキ證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第八十五條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添附スベキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第八十六條 保險院長官又ハ地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第八十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ保險給付ニ關シ地方長官ニ對シ申請、請求又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ申請書、請求書又ハ届書ニ添附スベキ書類ハ申請、請求又ハ届出ノ際之ヲ提出スベシ但シ地方長官ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

口頭ヲ以テ申請、請求又ハ届出ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ其ノ申請、請求又ハ届出ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作製シ讀ミ聞カセタル上之ニ記名調印セシムベシ

第八十八條 被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ保險院長官ニ提出スル保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

### 第三章 船員保險法第六十三條ノ審査手續

第八十九條 審査ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ第一次船員保險審査會ニ對スル審査ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第九十條 文書ヲ以テ審査ノ請求ヲ爲サントスル者ハ審査請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ當該船員保險審査會ニ提出スベシ

第一次船員保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ  
一 審査請求人ノ氏名、生年月日及住所並ニ審査請求人ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ非

ザルトキハ其ノ職業及被保險者又ハ被保險者タリシ者トノ關係

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶）ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所

三 保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ受取リタル行政官廳名

四 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名

五 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日

六 請求ノ事件及一定ノ申立

七 請求ノ理由

八 立 證

九 年 月 日

第二次船員保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ前項第一號、第二號及第七號乃至第九號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載シ第一次船員保險審査會ノ決定書又ハ其ノ謄本ヲ添付スベシ  
一 第一次船員保險審査會ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル年月日  
二 第一次船員保險審査會ノ決定ニ對スル不服ノ程度及變更ノ申立



第九十一條 口頭ヲ以テ審査ヲ請求シタル者アルトキハ書記ハ前條第二項各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル審査請求調書ヲ作製シ讀聞カセタル上之ニ記名調印セシメ證據書類アルトキハ之ヲ提出セシムベシ

前項ノ審査請求調書ニハ之ヲ作製シタル書記ハ署名捺印スベシ

第九十二條 船員保險審査會ハ審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳ニ對シ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ヲ送付スベシ

行政官廳ハ前項ノ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ答辯書及證據書類ヲ當該船員保險審査會ニ提出スベシ

第九十三條 船員保險審査會ハ必要アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十四條 審査ノ決定書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 審査請求人ノ氏名、生年月日及住所
- 二 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル行政官廳名
- 三 決定主文

四 決定ノ理由

五年 月 日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長ハ署名捺印スベシ

第九十五條 船員保險審査會ハ前條第一項ノ決定書ノ原本ニ基キ正本及副本各一通ヲ作製シ船員保險審査會ノ印ヲ押捺シテ遲滯ナク正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ關係アル行政官廳ニ送付スベシ

審査請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得ザルトキハ船員保險審査會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スベシ

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ經過シタルトキハ決定書ノ交付アリタルモノト看做ス

第九十六條 審査請求人ハ船員保險審査會ニ對シ決定書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四章 雜 則

第九十七條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ發スル督狀狀ハ様式第八號ニ依ル

第九十八條 廳府縣（東京府ヲ除ク）ノ官吏ガ保險料滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ

船員保險法施行規則

示スベキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ハ様式第九號ニ依ル

第九十九條 法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ保險料其ノ他法ニ依ル徵收金納入ノ告知及督促ニ關スル書類ニ付テハ保險院ニ、滯納處分ニ關スル書類ニ付テハ道府縣廳（東京府ニ在リテハ警視廳）又ハ船員保險ノ事務ヲ分掌スル廳府縣出張所ニ之ヲ爲スベシ

第一百條 令第三十五條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ船舶毎ニ之ヲ備フベシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 控除シタル保險料ノ所屬月分及金額
- 三 控除シタル年月日

第一百一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ毎月ノ保險料ヲ其ノ月十日迄ニ納付スベシ

第一百二條 船舶所有者ハ船員保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スベシ

第一百三條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スベキ左ニ掲グル事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一 第八條第一項、第九條、第十條及第十三條ノ規定ニ依ル届出（船長タル被保險者ニ關スル

モノヲ除ク）ヲ爲スコト

- 二 第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ決定ヲ爲スコト
- 三 第二十條第一項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スコト
- 四 第二十一條ノ規定ニ依リ標準報酬ノ等級ヲ船員手帳ニ記載ヲ爲スコト
- 五 第二十五條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲スコト
- 六 第二十五條第六項ノ規定ニ依リ診療券ノ提出ヲ爲スコト
- 七 第四十一條第二項、第四十三條第二項及第四十五條第二項ノ規定ニ依ル證明書ノ交付（被保險者タリシ者ニ對スルモノヲ除ク）ヲ爲シ又ハ其ノ交付ニ代フル記載ヲ爲スコト

### 第五章 罰 則

第一百四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第一條乃至第四條、第八條第一項、第九條、第十條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 二 第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル

船員保險法施行規則

者

- 三 第二十條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ變更ヲ怠リ又ハ不當ノ變更ヲ爲シタル者
- 四 第二十一條ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 五 第二十五條第三項ノ規定ニ依ル記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 六 正當ノ事由ナクシテ第二十五條第四項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼズ、故ナク診療券ノ交付ヲ爲シ又ハ診療券ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 七 第二十五條第六項ノ規定ニ依ル診療券ノ提出ヲ怠リタル者
- 八 正當ノ事由ナクシテ第八十四條ノ規定ニ依ル請求ニ應ゼズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者
- 九 第百條ノ規定ニ依ル保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ對シ閱覽ヲ拒ミタル者
- 十 第百二條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者
- 第百五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 一 第十五條、第三十一條、第四十條第二項、第五十四條、第五十六條又ハ第七十四條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

- 二 第七條又ハ第十二條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出ヲ爲シタル者
- 三 第二十五條第五項ノ規定ニ依ル診療券ノ返納ヲ怠リタル者
- 第百六條 保険院若ハ廳府縣ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ故ナク第八十六條ノ規定ニ依ル閱覽、説明又ハ報告ニ關シ知得シタル醫師、齒科醫師若ハ藥劑師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

- 第百七條 第一條乃至第七條、第十二條、第百二條、第百四條及第百五條ノ規定ハ昭和十五年三月一日ヨリ、第八條乃至第十一條、第十三條乃至第二十三條及第百三條ノ規定ハ昭和十五年五月一日ヨリ、第二十四條乃至第百一條及第百六條ノ規定ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第百八條 第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スル船舶所有者ハ其ノ所有スル船舶ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ同條各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ其ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ昭和十五年三月三十一日迄ニ保険院長官ニ提出スベシ
- 第百九條 第八條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者タル船員ヲ雇傭スル船舶所有者ハ其ノ雇傭スル船員タル被保險者ニ付其ノ際ノ現在ニ依リ様式第一號ニ準ズル届書ヲ昭和十五年五月三十一日迄

ニ保險院長官ニ提出スベシ  
 第八條ノ規定施行ノ際法施行地外ニ在ル船舶ニ乗組ム被保險者ニ關シ前項ノ定ムル期日迄ニ届書ヲ提出シ得ザル場合ニ於テハ届書提出ノ手續ヲ爲シ得ルニ至リタルトキ直ニ之ヲ提出スベシ  
 第一百條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ

前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定ガ不當ナルトキハ保險院長官ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上其ノ旨ヲ船舶所有者ニ通知スベシ  
 船舶所有者ハ第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スベシ前項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同ジ

第一百一條 第九條ノ規定ニ依ル届出竝ニ前條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定及同條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得  
 第一百二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者
- 二 第一百條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ決定ヲ怠リ又ハ不當ノ決定ヲ爲シタル者
- 三 第一百條第三項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

様式第一號(第八條)

昭和何年何月何日  
 何府(縣)何市(縣)何町(村)大字何何番地  
 船舶所有者何會社(何某)  
 代理人 船長 何某 團  
 保險院長官殿  
 船員保險被保險者資格取得届

船名	資格取得年月日		昭和 年 月 日	
	氏名	生年 資格取 月日 得原因	職務	報 酬 月 額
	月日	月日	給料	職長 手當
	月日	月日	勤續 手當	機關部 手當
	月日	月日	其ノ他	計
	月日	月日	※標準 級 報酬等	備 考

備 考

- 一 本屆書ノ大サハ縦約二十六種、横約十八種トス

- 二 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 三 女子タル被保險者ニ付テハ氏名ノ左側ニ「(女)」ト附記スベシ
- 四 「資格取得原因」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル原因ガ船舶ニ乗組ムニ至リタルモノナルトキハ「就職」乗船」等ト、日本ノ國籍ヲ取得シタルニ因ルモノナルトキハ「國籍取得」ト、漁船ニシテ業務ノ種類ヲ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「漁業種類變更」ト、船舶港ヲ臺灣ヨリ内地ニ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「船舶港變更」ト記載シ其ノ他之ニ準ズベシ
- 五 「報酬月額」欄ニハ令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スベシ
- 六 「報酬月額」欄ノ「其ノ他」欄ニハ職長手當、勤續手當及機關部手當以外ノ給料ニ準ズベキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スベシ
- 七 ※「標準報酬等級」欄ハ空欄ノ儘ト爲シ置クベシ
- 八 第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ左ニ掲グル事項ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
  - (イ) 最後ニ被保險者タリシ當時指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ指定共濟組合ノ名稱
  - (ロ) 最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別並ニ其ノ被保險者ノ資格喪失當時乘組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ法第二十條(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル法第二十條ヲ含ム)ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨
  - (ハ) 最後ニ被保險者(朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ニ在リテハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日

様式第二號(第九條)

昭和何年何月何日		何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地		船船所有者何會社(何某)		代理人 船長 何某		保險院長官殿		船員保險被保險者職務變更屆報月額	
船名	氏名	生年	職務	給料	職長手當	勤續手當	機關部手當	其ノ他	計	標準報酬等級	備考
	月日	月日		月日	年	年	年	年	年		
					變更前	變更前	變更前	變更前	變更前		
					變更後	變更後	變更後	變更後	變更後		
					月日	年	年	年	年		
					變更後	變更後	變更後	變更後	變更後		

- 備考
- 一 本屆書ノ大サハ縦約二十六糎、横約十八糎トス
  - 二 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 船員保險法施行規則

- 三 職務ノミ變更アリタルトキハ「報酬月額」欄ニ、報酬月額ノミ變更アリタルトキハ「職務」欄ニ斜線ヲ畫スベシ
- 四 「報酬月額」欄ニハ令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スベシ
- 五 「報酬月額」欄ノ「其ノ他」欄ニハ職長手當、勤続手當及機關部手當以外ノ給料ニ準ズベキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スベシ
- 六 「※標準報酬等級」欄ハ空欄ノ儘ト爲シ置クベシ

様式第三號(第十條)

昭和何年何月何日  
 何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地  
 船舶所有者何會社(何某)  
 代理人 船 長 何 某 ㊟  
 保險 院 長 官 殿 何 某 ㊟  
 船員保險被保險者資格喪失届

船名	氏名	生年月日	資格喪失年月日	資格喪失原因	備考
		年 月 日	年 月 日		
		年 月 日	年 月 日		
		年 月 日	年 月 日		

備考

- 一 本届書ノ大サハ縦約二十六種、横約十八種トス
- 二 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 三 「資格喪失原因」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル原因ガ船舶ニ乗組マザルニ至リタルモノナルトキハ「退職」「下船」等ト、死亡シタルニ因ルモノナルトキハ「死亡」ト、日本ノ國籍ヲ喪失シタルニ因ルモノナルトキハ「國籍喪失」ト、漁船ニシテ業務ノ種類ヲ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「漁業種類變更」ト、船籍港ヲ内地ヨリ臺灣ニ變更シタルニ因ルモノナルトキハ「船籍港變更」ト記載シ其ノ他之ニ準ズベシ
- 四 「資格喪失年月日」欄ニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル原因ノ生ジタル日ノ翌日ヲ記載スルモノトス
- 五 被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル者ニ付テハ其ノ取得シタル日ヲ「備考」欄ニ記載スベシ



備考

- 一 本診療券ノ大サハ縦約十五種、横約二十一種トシ中央點線ノ箇所ヲ以テ二ツ折ト爲スモノトス
- 二 本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス
- 三 本診療券ニ記載シタル疾病又ハ負傷ニ付初テ保險醫ノ診療ヲ受クル前ニ當該疾病又ハ負傷ニ付診療費ノ支給ヲ受クルモノナルトキハ其ノ旨及其ノ支給開始ノ年月日ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 四 減失又ハ毀損シタルニ因リ再交付スル場合ニ於テハ再交付ノ旨及療養ノ給付開始アリタル年月日ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 五 第二十八條第二項ノ規定ニ依リ交付スル診療券ニ在リテハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル旨及其ノ年月日ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 六 「傷病」欄ノ「傷病名」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルベシ
  - (イ) 齒ノ疲病又ハ負傷ニ付テハ其ノ患齒ノ部位ヲモ記載スベシ
  - (ロ) 傷病名ガ不詳ナルトキハ其ノ旨及症狀ヲ記載スベシ
- 七 「本券發行年月日」欄ニハ被保險者ニ交付ノ年月日ヲ記載スベシ
- 八 「診療記録」欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スベキモノニシテ其ノ記載ニ付テハ左ニ依ルベシ
  - (イ) 「初診年月日」欄ニハ疾病又ハ負傷ニ付診療ヲ爲シタル各保險醫ノ初診ノ年月日ヲ記載スベシ
  - (ロ) 疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ爲シタル保險醫ニ於テ其ノ診療ヲ爲シタル結果「傷病」欄ノ「傷病名」欄ニ記載シタル傷病名ガ不正確ナルトキ又ハ同欄ニ傷病名ガ不詳ナル旨ヲ記載シタルトキハ其ノ正シキ傷病名ヲ「傷病名ニ關スル事項」欄ニ記載スベシ
  - (ハ) 疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ニ付診療ヲ爲シタル保險醫ハ「(續發)」ト附記シテ其ノ病名及自己ノ氏名ヲ「傷病名ニ關スル事項」欄ニ記載スベシ

様式第五號(第二十八條)

船員保險診療券

氏名	生年月日	住所	被保險者資格喪失年月日	船舶ノ名稱	船舶所有者	昭和	年	月	日	地方長官ノ官氏名印
傷病名	發病又ハ負傷年月日	船船所有者ノ扶助義務終了年月日	療養ノ給付開始年月日	備考	備考	昭和	年	月	日	
						昭和	年	月	日	

注 意 (一) 船船所有者の扶助義務が終つてからでなければ保險醫の診療を受けることができません。保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの診療券を保險醫に渡さなければなりません。

備考 一 本診療券ノ大サハ縦約二十一種、横約十五種トス  
 二 本診療券ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ一通發行スルモノトス  
 三 ※印ヲ附シタル欄ハ保險醫ニ於テ之ヲ記載スルモノトス

船員保險法施行規則



様式第六號 (第三十四條)

船員保險醫變更承認書

氏名				傷病名			
生年月日	年	月	日	發病又ハ負傷年月日	昭和	年	月
住所				病養ノ給付開始年月日	昭和	年	月
被保險者資格喪失年月日	昭和	年	月	現在受療ノ醫(診療所所在地)	氏名		
船舶ノ名稱				備考			
船舶所有者	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ稱						
右保險醫變更承認ス				地方長官ノ官氏名印			
昭和 年 月 日							
<p>注意 變更後の保險醫に就いて診療を受ける場合にはこの承認書をその保險醫に渡さなければなりません。</p>							
備考							
本承認書ノ大サハ縦約二十一種、横約十五種トス							

様式第七號 (第三十七條)

船員保險診療所入院承認書

氏名				傷病名			
生年月日	年	月	日	發病又ハ負傷年月日	昭和	年	月
住所				療養ノ給付開始年月日	昭和	年	月
被保險者資格喪失年月日	昭和	年	月	入院豫定ノ診療所(所在地)	氏名		
船舶ノ名稱				備考			
船舶所有者	(住所又ハ所在地) 氏名又ハ稱						
右診療所入院承認ス				地方長官ノ官氏名印			
昭和 年 月 日							
<p>注意 診療所に入院する場合にはこの承認書をその診療所に渡さなければなりません。</p>							
備考							
本承認書ノ大サハ縦約二十一種、横約十五種トス							

備考  
本承認書ノ大サハ縦約二十一種、横約十五種トス  
船員保險法施行規則

様式第八號(第九十七條)

第何號	何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何番地	何(某)
昭和何年度	何々(款)	何々(項)
督促	昭 and 何年何月分船員保險保險料 一金 何程 一金 貳拾錢 一 納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓 一 付一日參錢ノ割合ニ依ル金額 延 滞 金 督促手數料 昭 and 何年何月何日限リ日本銀行本店、支店又ハ代理店(何々)ヘ納付スベシ 右昭 and 何年何月何日限リ日本銀行本店、支店又ハ代理店(何々)ヘ納付スベシ 指定期限迄ニ保險料及手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ 指定期限ヲ過ギ完納セザルトキハ直ニ其ノ財產差押ノ處分ヲ爲スベシ 昭 and 何年何月何日 保險院長官 氏 名 印	
狀	一 延滞金ヲ徵收セザルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額 延滞金」及「指定期限迄ニ保險料及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ」ノ文字ヲ記載セザルモノトス 二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スベシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス 「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何々ヘ納付スルヲ要ス」	

備考

- 一 延滞金ヲ徵收セザルモノニ在リテハ「一納期限ノ翌日ヨリ保險料額百圓ニ付一日參錢ノ割合ニ依ル金額 延滞金」及「指定期限迄ニ保險料及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徵收セズ」ノ文字ヲ記載セザルモノトス
- 二 日本銀行ニ納付ヲ指定シタルトキハ本文ノ「納付スベシ」ノ下ニ左ノ但書ヲ加フルモノトス  
「但シ同日ヲ經過シタルトキハ何々ヘ納付スルヲ要ス」

備考

本證ハ縦約八種、横約五種ノ大サトシ厚キ紙ヲ用フベシ

官 職 氏 名  
 何道府縣廳又ハ何  
 廳府縣何出張所

(裏面)

第何號  
 船員保險保險料滞  
 納者財產差押證票  
 廳 府 縣 印

(表面)

様式第九號(第九十八條)

### 六 船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

(昭和十五年四月二十四日  
厚生省令第一號)  
遞信

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳(船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市町村長及之ニ準ズル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、職務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ届出、標準報酬ノ決定及變更並ニ船員保險法施行規則ニ依リ船舶所有者ガ診療券又ハ證明書ヲ交付スベキ場合ニ於ケル管海官廳ノ證明ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付様式第一號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出ヲ爲シタル事項ヲ附記スベシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタル場合ニ

於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ノ變更ニ付様式第二號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ガ船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ 保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付様式第三號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

第五條 被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケザルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 管海官廳ハ第二條第一項若ハ前條ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ決定又ハ變更ヲ爲スモノトス

第七條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ管海官廳ニ提出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クベシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スベシ

第八條 管海官廳ハ第五條第一項ノ届書ヲ受ケ標準報酬ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ標準報酬ノ等級ヲ船舶所有者ニ通知スルモノトス

第九條 船舶所有者ハ船員保險法施行規則第二十五條第二項、第二十八條第三項、第四十一條第三項、第四十三條第三項、第四十五條第二項又ハ第四十六條第三項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ交付スル診療券又ハ證明書ニ其ノ者ノ疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條、第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助又ハ手當ノ支給ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ノ證明ヲ受クルコトヲ得

第十條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スベキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務

ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第七條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠リタル者

三 第七條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則

本令ハ昭和十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス



備考

- 一 本屆書ノ大サハ縱二十九・七浬、橫四十二浬トス
- 二 届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スベシ
- 三 氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スベキ雇入公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムベシ
- 四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 五 女子タル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ノ左側ニ「女」ト記載スベシ
- 六 「報酬月額」欄ニハ船員保險法施行令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スベシ
- 七 「報酬月額」欄ノ「準給料」欄ニハ職長手當、勤續手當、機關部手當及給料ニ準ズベキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スベシ
- 八 船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ左ニ掲グル事項ヲ「摘要」欄ニ記載スベシ
  - (イ) 最後ニ被保險者タリシ當時船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ指定共濟組合ノ名稱
  - (ロ) 最後ニ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別並ニ其ノ被保險者ノ資格喪失當時乗組ミタル船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名住所但シ船員保險法(關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨
  - (ハ) 最後ニ被保險者(朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム)ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタル者ニ在リテハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日
- 九 本屆書中船舶番號、總噸數、船舶ノ用途、航行區域又ハ從業制限、雇入地、機關ノ種類及公稱馬力、船員手帳番號、海技免狀其ノ他ノ資格證明書ノ種類、手當、雇入期間、職業紹介ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ名稱ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

樣式第二號

保險院長官殿			届出者		年 月 日
船員保險被保險者 <small>職務</small> 報酬月額變更届					年 月 日
船舶番號	船舶種名	船及氏名又ハ住所	船舶番號	船舶種名	船及氏名又ハ住所
變更年月日	變更地		變更年月日	變更地	
船員手帳番號	海員氏名出生年月日	雇入公認ノ年 月日及官廳名	海技免狀 其ノ他ノ資格證明書ノ種類	變 更 ノ 内 容	職 務 給 料 準 給 料 計
第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	舊	新
第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	舊	新
第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	舊	新
第 號	年 月 日	年 月 日	年 月 日	舊	新

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

計	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
人													
	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

備考

- 一 本屆書ノ大サハ縦二十九・七種、横四十二種トス
- 二 屆出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スベシ
- 三 氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スベキ雇入契約變更公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一  
致セシムベシ
- 四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 五 職務ノミノ變更アリタルモノハ「報酬月額」欄ニ、報酬月額ノミノ變更アリタルモノハ「職務」欄  
ニ斜線ヲ畫スベシ
- 六 「報酬月額」欄ニハ船員保險法施行令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スベシ
- 七 「報酬月額」欄ノ「準給料」欄ニハ職長手當、勤績手當、機關部手當及給料ニ準ズベキモノニシテ  
厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スベシ
- 八 本屆書中船舶番號、變更地、船員手帳番號、雇入公認ノ年月日及官廳名、海技免狀其ノ他ノ資格證  
明書ノ種類、變更ノ内容中手當、其ノ他ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

船員保險ノ被保險者資格喪失届出等ニ關スル件

計	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號
人											
	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

乘組員實數				
計	他ノ其	部務事	部關機	部板甲
人	人	人	人	人

第 號	第 號	第 號	船員手帳番號	年 月 日	雇 止 年 月 日	第 號	船 名	保險院長官殿 船員保險被保險者資格喪失届	年 月 日	届出者
年 月 日	年 月 日	年 月 日	海員氏名	年 月 日	雇 止 年 月 日	船 種	船 名			
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	船 種	船 名	船船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	年 月 日	届出者
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	船 種	船 名			
			職					船船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	年 月 日	届出者
			務							
			雇止事由					船船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	年 月 日	届出者
			備							
			考					船船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	年 月 日	届出者

様式第三號



備考

- 一 本屆書ノ大サハ縦二十九・七糎、横四十二糎トス
- 二 届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スベシ
- 三 氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スベキ雇止公認申請書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムベシ
- 四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 五 被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル者ニ付テハ其ノ取得シタル日ヲ「備考」欄ニ記載スベシ
- 六 本屆書中船舶番號、雇止地、船員手帳番號、雇入公認ノ年月日及官廳名ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

様式第四號

年 月 日

届出者

保險院長官殿

雇入未公認船員保險被保險者資格得喪届

第 號	第 號	第 號	船員手帳番號 氏名	出生 年月日	雇入 年月日	雇入地職務	報酬月額 計	手當 標準報死 酬等級(行方不明) 年月日	船舶番號	船種船名	航行區域又 制限又	總噸數	船舶所有者ノ住所及 氏名又ハ名稱

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

計	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
人	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

一四〇

備考

- 一 本屆書ノ大サハ縦二十九・七種、横四十二種トス
- 二 届出者ノ肩書ニハ船舶所有者代理人船長何某又ハ船舶所有者何某ト記載シ捺印スベシ
- 三 氏名ノ記載順序ハ管海官廳ニ提出スベキ届書ニ記載シアル海員氏名ノ順序ニ一致セシムベシ
- 四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保険者タリシ者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ
- 五 女子タル被保険者タリシ者ニ付テハ其ノ氏名ノ左側ニ「(女)」ト附記スベシ
- 六 「報酬月額」欄ニハ船員保險法施行令第五條第一項ノ例ニ依リ計算シタル報酬月額ヲ記載スベシ
- 七 「報酬月額」欄ノ「準給料」欄ニハ職長手當、勤續手當、機關部手當及給料ニ準ズベキモノニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノヲ記載スベシ
- 八 本屆書中船舶番號、航行區域又ハ從業制限、總噸數、船員手帳番號、雇入地、手當ニ付テハ記載ヲ省略スルモ差支ナシ

船員保險ノ被保險者資格得喪届出等ニ關スル件

一四一

七 臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クベキ場  
合ニ於ケル船員保險ノ被保險者ノ資格得  
喪届出等ニ關スル件

(昭和十五年五月三日  
厚生省令第十五號)

第一條 船員保險ノ被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立、終了及變更ニ付臺灣ニ於テ船員法第十  
八條ノ規定ニ依リ管海官廳(船員法第四十五條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ市尹街庄長  
ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル被保險者ノ資格ノ取得、資格ノ喪失、職  
務ノ變更及報酬月額ノ變更ノ届出竝ニ標準報酬ノ決定及變更ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者タル海員ノ雇入ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ  
直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ取得ニ付昭和十五年<sup>厚生</sup>省令第一號船員保險ノ被保險者ノ資格得喪  
届出等ニ關スル件(以下共同省令ト稱ス)様式第一號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準  
報酬ノ決定ヲ受クベシ

船員保險法施行規則第七條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ  
届書ニ其ノ申出ヲ爲シタル事項ヲ附記スベシ

第三條 被保險者タル海員ノ職務又ハ給料若ハ手當ノ變更ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケ  
タル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ職務又ハ報酬  
月額ノ變更ニ付共同省令様式第二號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テ標  
準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルモノナルトキハ其ノ標準報酬ノ變更ヲ受クベシ

- 一 船舶職員以外ノ船員及船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ガ船舶職  
員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員ト爲ルニ至リタルトキ
- 二 船舶職員又ハ船員保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員ガ船舶職員以外ノ船員及船員  
保險法施行令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ
- 三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第四條 被保險者タル海員ノ雇止ニ付臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ  
直ニ其ノ被保險者ノ資格ノ喪失ニ付共同省令様式第三號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出スベ  
シ

第五條 被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケザルモノノ死亡又ハ行方不明ニ付臺灣ニ於テ  
船員法施行規則第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其

臺灣ニ於テ管海官廳ノ公認ヲ受クベキ場合ニ於ケル船員保險ノ  
被保險者ノ資格得喪届出等ニ關スル件

ノ被保險者ノ資格ノ取得及喪失ニ付共同省令様式第四號ニ依ル届書ヲ當該管海官廳ニ提出シ標準報酬ノ決定ヲ受クベシ

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 船舶所有者ハ第二條第一項ノ届書又ハ第三條ノ規定ニ依ル報酬月額變更ノ届書ヲ臺灣ニ於テ管海官廳ニ提出シタルトキハ直ニ海員名簿ヲ當該管海官廳ニ提出シ其ノ標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クベシ

船舶所有者ハ前項ノ記載ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク當該被保險者タル海員ノ標準報酬ノ等級ヲ其ノ受有スル船員手帳ニ記載スベシ

第七條 本令ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲スベキ事項ニ付テハ船舶所有者ハ船長又ハ船長ノ職務ヲ行フ者ヲシテ其ノ代理人トシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第三條、第四條又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第六條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ受クルコトヲ怠リタル者

三 第六條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ等級ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附 則

本令ハ昭和十五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

八 内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件

(昭和十五年五月三十一日  
厚生省令第十七號)

第一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ船員保險法施行規則(以下則ト稱ス)

第四十七條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地(以下指定地ト稱ス)ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條、第二十六條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項及第二項、第三十八條乃至第四十六條、第八十三條、第八

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件 一四五

十四條、第八十七條、第一百三條、第一百四條及第一百五條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條第一項、第三十六條、第三十七條第一項、第三十八條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中單ニ「地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府遞信局長」トアルハ「臺灣總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府遞信局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トシ「樣式第五號ニ依ル診療券」トアルハ「診療券」トシ「管轄スル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府遞信局長」、關東州ニ在リテハ「管轄スル關東海務局長」トシ「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム）ヲ經由シテ朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「入院承認申請當時現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シテ臺灣總督府遞信局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ之ニ内地ノ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ附記スベシ

第三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於テ爲ス療養ノ給付ニ付テハ船員保險法施行令第三十一條中「保險院長官」トアルハ朝鮮ニ在リテハ「朝鮮總督府遞信局長」、臺灣ニ在リテハ「臺灣總督府遞信局長」、關東州ニ在リテハ「關東海務局長」トス

第四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ指定地（關東州ヲ除ク）ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ則第二十五條乃至第三十四條、第三十六條乃至第四十六條、第八十三條乃至第八十七條、第一百三條乃至第六條ノ規定ニ依ル但シ第二十五條、第二十八條乃至第三十二條、第三十四條、第三十六條乃至第四十二條、第四十四條、第四十六條及第八十七條中「地方長官」、「診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「第六號ニ掲グル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地（申請當時療養ノ給

内地以外ノ地ニ於テ爲ス船員保險ノ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ關スル件 一四七

付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官、「入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官」、「第八號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」、「診療其ノ他ノ手當ヲ受ケタル醫師若ハ齒科醫師ノ診療所所在地又ハ其ノ他ノ者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官」又ハ「第十一號ニ掲グル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官」トアルハ「保險院長官」トス

前項ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ届書ヲ提出スル場合ニ於テハ當該地ニ駐在スル帝國ノ領事官ニ之ヲ差出スベシ

第五條 被保險者タリシ者ガ内地以外ノ地ニ於テ療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テハ第二條若ハ前條又ハ則第三十四條ノ規定ニ依リ朝鮮總督府遞信局長、臺灣總督府交通局總長、關東海務局長、保險院長官又ハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル保險醫變更ノ承認書ハ本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル則第三十條ノ規定ニ依リ提出スベキ診療券ト看做ス

附 則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

九

船員保險法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ船員保險法施行地外ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス地ノ指定

(昭和十五年五月二十五日  
厚生省告示第百三十九號)

關東州、中華民國天津、中華民國芝罘、中華民國青島、中華民國上海、香港

一〇 船員保險ノ保險料率

(昭和十五年五月三日  
厚生省告示第百三號)

- 一 船員保險法第二十八條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付ヲ爲サザル被保險者及同法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付六圓四十錢ノ割
- 二 前號以外ノ被保險者ニ付テハ其ノ標準報酬月額百圓ニ付八圓二十錢ノ割

一一 船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準ズベキモノノ指定ノ件

(昭和十五年三月二十日  
厚生省告示第五十號)

船員保險法施行令第一條第四號ノ規定ニ依ル給料ニ準ズベキモノヲ左ノ通指定ス  
給料割増手當ニシテ物價騰貴ニ對シ支給セラルルモノ

一二 船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依ル共濟組合ノ指定  
(昭和十五年六月四日  
厚生省告示第六十二號)

昭和十五年六月一日左ノ共濟組合ヲ船員保險法施行令第八條ノ規定ニ依リ指定シタリ

遞信共濟組合  
國有鐵道共濟組合

一三 船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件  
(昭和十五年五月三十一日  
厚生省令第十八號)

第一條 船員保險法施行令第八條ノ規定(關東州ニ在リテハ之ニ相當スル法令ノ規定)ニ依リ指定シタル共濟組合(以下指定共濟組合ト稱ス)ヨリ船員保險法第四十六條ノ規定ニ依ル脱退手當金ニ相當スル給付若ハ同法第四十九條ノ規定ニ依ル支給金ニ相當スル給付ヲ受ケタル者又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付(指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノニ限ル)ヲ受クル者ニ付テハ其ノ計算ノ基礎ト爲リタル期間ニ含マルル被保險者タリシ期間ハ之ヲ同法第二十二條第三項(但書ヲ除ク)ノ規定ニ依リ合算スベキ期間ヨリ除ク

第二條 被保險者タリシ全期間ノ平均報酬年額又ハ平均報酬月額ヲ計算スル場合ニ於テ指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ期間ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合ニ納付シタル其ノ期間ニ係ル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

船員保險法施行令第十條及第八十八條ノ規定ニ基ク命令ニ關スル件

第三條 指定共濟組合ヨリ船員保險法第三十四條ノ規定ニ依ル養老年金ニ相當スル給付（指定共濟組合ノ組合員タリシ期間二十年ヲ超ユル者ニ支給セラルルモノヲ除ク）ヲ受クル者ガ指定共濟組合ノ組合員タルザル被保險者（以下政府管掌ノ被保險者ト稱ス）ト爲リタル爲其ノ支給ヲ爲サレザルニ至リタル場合ニ於テ其ノ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前後ノ被保險者タリシ期間ヲ合算シテ養老年金ノ額ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ養老年金ノ額ヲ計算スル場合ニ於テ其ノ額ガ指定共濟組合ヨリ支給ヲ受ケタル養老年金ニ相當スル給付ノ額ヨリ少ナキトキハ其ノ從前ノ額ヲ以テ養老年金ノ額トス

第四條 指定共濟組合ノ組合員タル被保險者タリシ者ガ引續キ政府管掌ノ被保險者タル船員保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル標準報酬ハ其ノ者ガ指定共濟組合ノ組合員トシテ最後ニ納付シタル掛金ノ算定ノ基礎ト爲リタル給料其ノ他ノモノノ月額ニ基キ之ヲ算定ス

附 則

本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

一四 船員保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

（昭和十五年五月十八日  
厚生省告示第百二十六號）

第一次船員保險審查會

名 稱	位 置	管 轄 區 域
東京第一次船員保險審查會	東京府 東京市	東京府、神奈川縣、新潟縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、静岡縣、山梨縣
名古屋第一次船員保險審查會	愛知縣名古屋市	愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、福井縣、石川縣、富山縣
大阪第一次船員保險審查會	大阪府 大阪市	大阪府、京都府、兵庫縣、奈良縣、滋賀縣、和歌山縣、德島縣、高知縣
廣島第一次船員保險審查會	廣島縣 廣島市	廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、山口縣、香川縣、愛媛縣
福岡第一次船員保險審查會	福岡縣 福岡市	福岡縣、熊本縣、長崎縣、大分縣、佐賀縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣
仙臺第一次船員保險審查會	宮城縣 仙臺市	宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣
札幌第一次船員保險審查會	北海道 札幌市	北海道

第二次船員保險審查會

名 稱 位 置  
第二次船員保險審查會 東京府東京市

船員保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域



一五 船員保險法施行令第四十九條ノ規定ニ依リ  
 保險給付ニ關スル申請又ハ請求ヲ地方長官  
 以外ノモノガ受取りタルモノニ付テノ保險  
 給付ニ關スル決定ニ不服アル場合ニ於テ其  
 ノ審査ヲ爲ス第一次船員保險審査會ノ指定

(昭和十五年五月三十一日  
 厚生省告示百五十六號)

- 一 審査ノ請求ヲ爲ス者ノ住所又ハ居所ガ内地ニ在ル場合ニ在リテハ其ノ住所又ハ居所地ヲ管轄スル第一次船員保險審査會
- 二 前號以外ノ場合ニ在リテハ福岡第一次船員保險審査會

### 一六 船員保險審査會職員旅費手當支給規則

(昭和十五年六月二十五日  
 勅令第四百三十號)

- 第一條 船員保險審査會ノ會長及委員其ノ資格ヲ以テ旅行スルトキハ在職官吏タル者ニハ其ノ本官相當ノ旅費ヲ、其ノ他ノ者ニハ別表ニ依ル旅費ヲ支給ス但シ第三條ノ規定ニ依リ日當ヲ受クル場合ニ於テハ別表ニ依リ日當ヲ支給セズ
- 第二條 本令ニ依ル旅費ハ會議ノ爲召集セラレタル場合ニ於テハ會議地又ハ會議地ヲ距ル三里以内ノ地ニ居住スル者ニハ之ヲ支給セズ
- 第三條 船員保險審査會ノ委員其ノ職務ヲ執行シタルトキハ第一次船員保險審査會ノ委員ニ對シテハ七圓、第二次船員保險審査會ノ委員ニ對シテハ十五圓ノ日當ヲ支給ス但シ官吏トシテ委員タル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 本令ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ内國旅費規則ヲ準用ス

#### 附 則

船員保險審査會職員旅費手當支給規則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

種	類	及鐵道 及船賃	車馬賃 (一里 ニ付)	日當 (一日 ニ付)	宿泊料 (一夜 ニ付)	食卓料 (一夜 ニ付)
第一次船員保險審査會委員	二 等		七十五錢	三 圓	五 圓	二 圓
第二次船員保險審査會委員	二 等		一圓二十錢	六 圓	九 圓	三 圓

備考

鐵道賃及船賃ハ運賃等級ヲ二階級ニ區分スル場合ニハ上級ノ運賃トシ、其ノ等級ヲ區分セザル場合ニハ其ノ乗車又ハ乗船ニ要スル運賃トス

### 一七 口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル

#### 者ニ對スル旅費支給ノ件

(昭和十五年六月四日  
厚生省令 第二號  
內務省)

第一條 船員保險法施行令第五十二條ノ規定ニ依リ船員保險審査會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條 旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓料ノ六種トシテ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ハ實際ノ經路ニ依ル

第三條 鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス鐵道八十五軒以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前項ノ額ノ外普通急行料金を支給ス但シ急行料金を徴セザル線路又ハ航路ニ依ル旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 陸路旅行ニハ一里ニ付車馬賃三十錢ヲ支給ス但シ片道一里未滿ノ陸路旅行ニ付テハ之ヲ支給セズ

陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ切捨トス

口頭審問ノ爲船員保險審査會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

- 第五條 日當八日數ニ應ジ一日ニ付七十錢ヲ支給ス
- 第六條 宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テハ之ヲ支給セズ
- 第七條 食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マザルトキ又ハ官用ノ船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲サザルトキハ一夜ニ付一圓ヲ支給ス
- 第八條 旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス
- 第九條 内國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依ル旅費ノ支給ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一八 船員保險事務取扱規程

(昭和十五年六月一日  
厚生省訓第二百六十七號)

- 第一條 船員保險事務ニ従事スル職員ハ船員保險ニ關スル法令、通牒等ニ通曉シ常ニ事務取扱上過誤ナキコトヲ期スベシ
- 第二條 船員保險事務ニ従事スル職員ハ被保險者其ノ他ノ者ト應接スル場合ニ於テハ特ニ懇切丁寧ヲ旨トスベシ

第三條 被保險者其ノ他ノ者ニ對スル通知、照會等ノ文書ハナルベク平易ナル文體ヲ用ヒ必要アルトキハ振假名ヲ施シ又ハ註釋ヲ加フル等適宜ノ方法ヲ講ジ記載事項ヲ了解スルニ便ナラシムベシ

第四條 船舶所有者、被保險者又ハ被保險者タリシ者若ハ其ノ他ノ者ヨリ受ケタル申請書、届書等ニシテ其ノ記載事項ニ輕微ナル誤謬アル場合ニ於テ其ノ誤謬ガ直ニ訂正シ得ベキモノナルトキハ便宜之ヲ訂正スベシ

第五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ヨリ保險給付ニ關シ口頭ニ依ル申請、請求又ハ届出ヲ受ケタルトキハ必要ナル事項ヲ聴取シ之ニ基キ書類ヲ作成シ讀聞カセタル上之ニ記名調印セシムベシ

船員保險法施行規則(以下則ト稱ス)第八十七條第二項ノ規定ニ依リ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヨリ提出アリタル書類ハ前項ノ書類ニ之ヲ添附シ置クベシ

- 第六條 廳府縣ニハ左ノ帳簿ヲ備フベシ
  - 一 船員保險船舶臺帳 様式第一號
  - 二 船員保險傷病給付臺帳 様式第二號
  - 三 船員保險徵收金滯納財産差押證券交付簿 様式第三號

船員保險事務取扱規程

第七條 左ノ届書ヲ受ケタルトキハ船員保險船舶臺帳ヲ整理シ其ノ届書ヲ保險院長官ニ進達スベシ

- 一 被保險者乗組船舶取得届書（第一條本文前段）
  - 二 被保險者乗組船舶該當届書（則第一條本文後段）
  - 三 被保險者乗組船舶離權届書（則第二條本文前段）
  - 四 被保險者乗組船舶該當除外届書（則第二條本文後段）
  - 五 被保險者乗組船舶包括承繼届書（則第三條）
  - 六 被保險者乗組船舶名稱等變更届書（則第四條）
- 前項ノ届書ヲ受ケタルトキ其ノ船舶若ハ船舶所有者ガ他ノ廳府縣ニ在リタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ船舶臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會シ又他ノ廳府縣ニ移動シタルコトヲ知リタルトキハ船舶臺帳ノ寫ヲ其ノ廳府縣ニ送付シ其ノ旨ヲ通知スルコト

第八條 診療券交付請求書（則第二十九條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 診療券ヲ交付スベキモノト決シタルトキハ診療券ヲ請求者ニ交付スルコト
- 診療券ヲ交付シタル者ニ付テハ船員保險傷病給付臺帳（以下傷病給付臺帳ト稱ス）ニ登載ス

ルコト

二 診療券ヲ交付スベカラザルモノト決シタルトキハ其ノ旨請求者ニ通知スルコト

第九條 保險醫變更承認申請書（則第三十四條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ベキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
- 二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
- 三 承認セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
- 四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

第十條 處置手術等承認申請書、看護承認申請書又ハ移送承認申請書（則第三十六條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ベキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保險醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト
- 二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト

船員保險事務取扱規程

尙看護ノ承認ニ付テハ其ノ期間ヲモ決定スルコト

三 承認セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項ノ規定ハ處置手術等受給届書、看護受給届書又ハ移送受給届書(則第三十六條第一項但書)ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 入院承認申請書(則第三十七條第一項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ療養ノ給付ヲ受ケ得ベキ者ナリヤ否ヤヲ現ニ診療ヲ爲ス保険醫ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト

二 承認スルモノト決シタルトキハ入院期間ヲモ決定シ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト

三 承認セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

五 入院豫定ノ診療所ノ所在地ガ他ノ廳府縣ノ管轄区域内ニアルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該

被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シ併セテ其ノ旨ヲ通知スルコト

前項第五號ノ規定ニ依ル傷病給付臺帳ノ寫ノ送付ヲ受ケタル廳府縣ハ其ノ寫ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載スベシ

前二項ノ規定ハ入院届書(則第三十七條第一項但書)ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 豫定外診療所入院届書(則第四十條第二項)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト

二 入院シタル診療所ノ所在地ガ他ノ廳府縣ノ管轄区域内ナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シ併セテ其ノ旨ヲ通知スルコト但シ

前條第一項第五號ノ規定ニ依リ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルモノニ在リテハ其ノ送付先ノ廳府縣ニ對シ豫定外ノ診療所ニ入院シタルコト(入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院

ノ年月日ヲ附記シ)ヲ通知スルコト

前項第二號ノ規定ニ依リ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ同號但書ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル廳府縣ハ之ニ依リ傷病給付臺帳ニ登載シ又ハ傷病給付臺帳ヲ整理スベシ

第十三條 保險醫ヨリ診療報酬請求書ヲ受ケタルトキハ傷病給付臺帳ヲ整理スベシ但シ傷病給付

臺帳ニ登載シアラザルトキハ本請求書ニ依リ登載シ尙他ノ廳府縣ニ於テ保險醫變更ノ承認ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ當該被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト

前項ノ規定ハ保險藥劑師ヨリ調劑報酬請求書ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 指定外醫師受療承認申請書（則第四十一條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付（又ハ療養費支給）ノ開始アリタル廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト
- 二 承認スルモノト決シタルトキハ承認書ヲ申請者ニ交付スルコト
- 三 承認セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト
- 四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ會テ他ノ

廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ對シ現在ノ傷病給付臺帳ノ寫ヲ前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ送付スベキ旨ヲ通知シ且前項第一號但書ノ照會ヲ發シタル廳府縣ニ對シ此ノ通知ヲ發シタル旨ヲ通知スベシ

前項前段ノ通知ヲ受ケタル廳府縣ニシテ當該疾病又ハ負傷ノ療養ノ給付ニ關シ會テ他ノ廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタルコトアルトキハ其ノ廳府縣ニ於テモ前項ノ規定ニ依リ夫夫通知ヲ爲スベシ以下同様ノ場合ノ廳府縣亦之ニ同ジ

第十五條 療養ノ給付受給困難ナル場合ノ療養費支給申請書（則第四十三條第一項）、指定外醫師受療ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十四條）又ハ緊急ノ場合ノ療養費支給申請書（則第四十五條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付（又ハ療養費支給）開始アリタル廳府縣ニ對シ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付方ヲ照會スルコト
- 二 支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ申請者ニ交付スルコト
- 三 支給セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ申請者ニ通知スルコト

船員保險事務取扱規程

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本申請書ニ依リ登載スルコト

前條第二項ノ規定ハ前項第一號但書ノ照會ヲ受ケタル廳府縣ニ之ヲ準用ス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル廳府縣ニ之ヲ準用ス

第十六條 第三者ノ行爲ニ因ル傷病受療届書(則第三十一條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト

二 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ爲サザルニ至リタルトキハ其ノ事實及其ノ給付ニ要シタル費用額ヲ保險院長官ニ報告スルコト

保險院長官ヨリ第三者ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ手續ヲ爲スベシ

前二項ノ規定ハ療養費ノ支給ヲ爲シタル疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタルモノナル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 傷病手當金支給請求書(則第四十六條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 傷病給付臺帳ト照合スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルモノニ在リテハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得ベキ者ナリヤ否ヤヲ診療ヲ爲シタル醫師等ニ就キ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ確ムルコト

二 支給スルモノト決シタルトキハ支給額ヲ決定シ支給決定通知書ヲ請求者ニ交付スルコト

三 支給セザルモノト決シタルトキハ其ノ旨ヲ請求者ニ通知スルコト

四 傷病給付臺帳ヲ整理スルコト但シ傷病給付臺帳ニ登載シアラザルトキハ本請求書ニ依リ登載スルコト

第十八條 法第五十一條第一項、第五十二條、第五十四條又ハ第五十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ノ全部又ハ一部ヲ爲サザリシトキハ傷病給付臺帳ヲ整理スベシ

第十九條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ遲滞ナク保險院長官ニ報告スベシ

第二十條 詐欺其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者アルトキハ其ノ事實ヲ直ニ保險院長官ニ報告スベシ

第二十一條 癱疾給付請求書(則第七十條第一項)ヲ受ケタルトキハ之ニ記載シアル癱疾ノ状態ノ程度ヲ調査ノ上意見ヲ具シ之ヲ保險院長官ニ進達スベシ

(様式第一號) 船員保險船舶臺帳 (第六條)

考 備	船員保險法適用年月日及事由	船舶所有者	住所又ハ所在地	氏名又ハ名稱	船名	船舶番號	船籍港	用途	總噸數	常時乗組員數	航行區域	
											噸	人
	年 月 日				第 號							

備考

- 一 「船員保險法適用年月日及事由」欄ニハ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由ヲ記載スルコト(事由ハ「新造」、「何會社(何某)ヨリ讓受」、「漁業種類何々ヲ變更」、「船籍港臺灣ヨリ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト)尙船員保險法施行規則第一條ノ規定施行ノ際現ニ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルモノニ付テハ「昭和十五年三月一日法施行」ト記載スルコト
- 二 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ「備考」欄ニ記載シ且上方欄外ニ「消込」ト朱書スルコト(事由ハ「解撤」、「何會社(何某)ヘ讓渡」、「漁業種類何々ニ變更」、「船籍港臺灣ニ變更」等ノ如ク簡明ニ之ヲ記載スルコト)
- 三 記載シアル事項ニ變更アリタルトキハ當該事項ヲ更訂スルノ外其ノ變更ノ事項及年月日ヲ「備考」欄ニ記載スルコト
- 四 本臺帳ハカード式ト爲スモ可ナルコト



(様式第二號) 船員保險傷病給付臺帳 (第六條) (廳府縣名)

被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ在リテハ資格喪失年月日	生年月日	性別	標準報酬等級	職務	シ者	乗組名稱	船名	傷病名	發病年月日	發病又ハ負傷年月日	診療券交付年月日	療養ノ期間	療養ノ費用	給付額	前所屬	後所屬	應管內ノ給付		
																	開始年月日	終了年月日	
	年 月 日	男 女	第 級						年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

要 摘

備考

- 一 本臺帳ハ當該廳府縣ニ於テ診療券ヲ交付シタルトキ又ハ交付セザルモ其ノ廳府縣管轄區域内ニ於テ療養ノ給付又ハ傷病手当金ノ支給ヲ受クルモノナルコト判明シタルトキ(即チ保險醫ヨリ診療報酬ノ請求其ノ他ノ場合ニ於テ判明シタルトキ)ハ直ニ之ヲ記載シ其ノ後ノ事項ニ付テハ其ノ都度之ヲ整理スルコト
- 二 本臺帳ハ疾病又ハ負傷ノ異ル毎ニ之ヲ記載スルコト(二以上ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザリシ場合ノ傷病手当金ノ事項ハ何レカ一ノ分ノ疾病又ハ負傷ノ方ニ之ヲ記載シ「備考」欄ニ其ノ旨記載スルコト
- 三 「被保險者又ハ被保險者タリシ者」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト  
(イ) 「職務」欄及「標準報酬等級」欄ニハ被保險者タリシ者ニ付テハ最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級ヲ記載スルコト  
(ロ) 「被保險者タリシ者ニ在リテハ資格喪失年月日」欄ニハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日ヲ記載スルコト
- 四 「乗組船舶」欄ニハ被保險者タリシ者ニ付テハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所又ハ名稱及所在地ヲ記載スルコト
- 五 「診療券交付年月日」欄及「船舶所有者扶助義務終了年月日義務ナキトキハ其ノ旨」欄ハ診療券ノ交付ヲ爲シタル廳府縣ニ於テノミ之ヲ記載スルコト
- 六 「船舶所有者ノ手当支給義務終了年月日義務ナキトキハ其ノ旨」欄ハ傷病手当金ノ支給ヲ爲シタル船員保險事務取扱規程

應府縣ニ於テノミ之ヲ記載スルコト

七 「給付ニ關スル各種承認」欄ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト

(イ) 保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ロ) 令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ノ承認ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ給付ノ届出アリタル場合ニ於テ之ヲ認メタルトキハ其ノ年月日及看護ノ承認ニ在リテハ看護期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ハ) 入院ノ承認ヲ爲シタルトキ又ハ入院ノ届出アリタル場合ニ於テ之ヲ認メタルトキハ其ノ年月日並ニ入院豫定ノ診療所(届出ヲ認メタルトキハ入院シタル診療所)ノ名稱所在地及入院期間、不承認ノ場合ハ其ノ旨

(ニ) 入院豫定外ノ診療所ニ入院シタルコトノ届出アリタルトキハ入院月日並ニ診療所ノ名稱及所在地

(ホ) 指定外醫師ニ就キ受療スルコトノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日並ニ診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地、不承認ノ場合ハ其ノ旨

八 「前所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ノ送付又ハ通知ヲ受ケタル場合ニ其ノ寫又ハ通知ヲ發シタル應府縣名ヲ記載スルコト

九 「爾後所屬廳名」欄ニハ傷病給付臺帳ノ寫ヲ送付シタル場合ニ其ノ送付先ノ應府縣名ヲ記載スルコト

十 「療養ノ給付終了年月日」欄及「療養ノ給付終了事由」欄ノ當該應府縣ノ管轄區域内ニ於テ療養ノ

給付ヲ終了シタルモノノミニ付之ヲ記載スルコト

十一 「當廳管内ノ給付」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルコト

(イ) 「期間」欄ニハ例ヘバ五日ヨリ十日迄ナルトキハ「五——一〇」ノ如ク記載シ又五日ヨリ十日迄ト十三日ヨリ二十日迄ナルトキハ「一三——二〇」ノ如ク記載スルコト

(ロ) 療養ノ給付ニシテ保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノ又ハ療養費トシテ支給シタルモノアルトキハ「療養ノ給付」欄ニハ此分ヲ保險醫ニ於テ診療ヲ爲シタル分ト區別シテ記載スルコト尙保險藥劑師ニ於テ藥劑ヲ支給シタルモノニ付テハ「期間」欄ニ「(何日分)」ノ如ク其ノ日數ヲ記載シ「保險醫氏名」欄ニ「藥何某」ノ如ク記載スルコト

又療養費トシテ支給シタルモノニ付テハ「保險醫氏名」欄ニ「(療養費)」ト記載スルコト

(ハ) 傷病手當金ノ額ガ令第二十六條ノ規定ニ該當スルモノナルトキハ「備考」欄ニ「(令第二十六條)」ノ如ク附記スルコト

(ニ) 法第五十一條第一項、第五十二條、第五十四條又ハ第五十六條第二項ノ規定ニ依リ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ノ全部又ハ一部ヲ爲サザリシトキハ其ノ旨及年月日

(ホ) 法第五十五條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル旨ノ通知ヲ保險院長官ヨリ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ「備考」欄ニ記載スルコト

十二 左ノ事項ハ之ヲ「摘要」欄ニ記載スルコト

(イ) 被保險者タリシ者ニシテ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケタルモノニ付テハ

船員保險事務取扱規程

其ノ事由

(ロ) 第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル疾病又ハ負傷ナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第

三者ノ氏名又ハ住所ガ不詳ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト尙事實ハ之ヲ簡單ニ記載スルコト)

十三 本臺帳ハカード式トナスモ可ナルコト

(様式第三號) 船員保險徵收金滯納財産差押證票交付簿 (第六條)

交付年月日	番 號	官職氏名	返納年月日	取扱者印	備	考

### 一九 船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スルノ件

(昭和十五年二月二十三日 勅令第六十五號)

船員保險法ハ第十六條及第五章ノ規定ヲ除クノ外之ヲ昭和十五年三月一日ヨリ朝鮮及臺灣ニ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ此等ノ規定ノ内地ニ於ケル施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 二〇 朝鮮船員保險法施行規則

(昭和十五年三月一日 朝鮮總督府令第三十一號)

#### 第一章 被 保 險 者

##### 第一節 被保險者ノ乗組ム船舶

第一條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有(共有及借入ヲ含ム以下之ニ同ジ)スルニ至リタルトキ又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ十日

船員保險法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スル件

以內ニ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ届出ヅベシ但シ第三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
  - 二 船舶ノ名稱及種類
  - 三 船舶番號
  - 四 船籍港
  - 五 船舶ノ用途
  - 六 船舶ノ總噸數
  - 七 船舶ノ航行區域（漁船ニ在リテハ業務ノ種類）
  - 八 當時ニ於ケル乗組員ノ概數
  - 九 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望
  - 十 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ト爲リタル年月日及事由
- 第二條 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタルトキハ船舶所有者タリシ者、所有スル船

船ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタルトキハ船舶所有者ハ左ニ掲グル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ届出ヅベシ但シ第三條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ者アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 船舶所有者タリシ者又ハ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有セザルニ至リタル年月日及事由又ハ所有スル船舶ガ被保險者ノ乗組ム船舶ニ非ザル船舶ト爲リタル年月日及事由

第三條 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル者ハ左ニ掲グル事項ヲ十日以內ニ遞信局長ニ届出ヅベシ

- 一 新舊船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 二 船舶ノ名稱及種類
- 三 船舶番號
- 四 船籍港

五 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ送付先ニ關スル希望

六 相續其ノ他ノ包括承繼ニ因リ被保險者ノ乗組ム船舶ヲ所有スルニ至リタル年月日及事由

第四條 船舶所有者ハ被保險者ノ乗組ム船舶ニ付第一條第一項第一號、第二號、第四號乃至第七號ノ事項ニ付變更アリタルトキハ其ノ旨及變更ノ年月日ヲ十日以内ニ遞信局長ニ届出ヅベシ但シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 船舶所有者ハ保險料納入告知書ノ送付先ノ變更ヲ希望スルトキハ左ニ掲グル事項ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

一 船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

二 船舶ノ名稱

三 當該船舶ニ乗組ム被保險者ニ關スル保險料納入告知書ノ現在ノ送付先

四 希望スル送付先

第六條 第一條乃至前條ノ届出ハ船舶所有者ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スベシ

第二節 被保險者ノ資格

第七條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ前ニ被保險者タリシ者ニシテ最後ニ被保險者タリシ當

時船員保險法施行令（以下單ニ令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依リ指定シタル共濟組合（以下指定共濟組合ト稱ス）ノ組合員タル被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際指定共濟組合ノ名稱ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ最後ニ内地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者タリシモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲グル事項ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

一 内地、臺灣又ハ關東州ノ何レノ船員保險ノ被保險者タリシ者ナリヤノ別

二 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱但シ船員保險法（關東州船員保險令ニ於テ依ルコトヲ定メタル場合ヲ含ム）第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ者ナルトキハ其ノ旨

被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ガ最後ニ被保險者（内地、臺灣又ハ關東州ノ船員保險ノ被保險者ヲ含ム）ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ヲ變更シタルモノナルトキハ其ノ資格取得ノ際變更前ノ氏名及變更ノ年月日ヲ船舶所有者ニ申出ヅベシ

第八條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ様式第一號ニ依リ十日以内ニ遞信局長ニ届出ヅベシ

前條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ船舶所有者ハ前項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スベシ

第九條 船舶所有者ハ被保險者ノ職務又ハ報酬月額ニ變更アリタル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ様式第二號ニ依リ十日以内ニ逓信局長ニ届出ヅベシ

一 船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ガ船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲グル船員ト爲ルニ至リタルトキ

二 船舶職員又ハ令第二十二條各號ニ掲グル船員ガ船舶職員以外ノ船員及令第二十二條各號ニ掲グル船員以外ノ船員ト爲ルニ至リタルトキ

三 標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキ

第十條 船舶所有者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ様式第三號ニ依リ十日以内ニ逓信局長ニ届出ヅベシ

第十一條 被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ遅滞ナク船舶所有者ニ申出ヅベシ

第十二條 船舶所有者ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ其ノ被保險者ノ氏名ノ變更ニ付

左ニ掲グル事項ヲ遅滞ナク逓信局長ニ届出ヅベシ

一 船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

二 被保險者ノ氏名及生年月日並ニ乗組ム船舶ノ名稱

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十三條 船員保險法(以下單ニ法ト稱ス)第二十條ノ規定ニ依ル被保險者トラントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ逓信局長ニ提出スベシ

一 住所、氏名及生年月日

二 被保險者資格喪失ノ年月日

三 被保險者資格喪失ノ際乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四 被保險者資格喪失ノ際指定共濟組合ノ組合員タル者ナルトキハ其ノ共濟組合ノ名稱

五 令第十三條第一項ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十四條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ住所又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ十日以内ニ逓信局長ニ届出ヅベシ

一 住所及氏名

二 變更前ノ住所又ハ氏名及變更ノ年月日

第十五條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル者ハ其ノ旨ヲ遞信局長ニ申請スベシ

第三節 標準報酬

第十六條 第八條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十七條 第九條ノ規定ニ依リ被保險者ノ報酬月額ノ變更ノ届出アリタルトキハ遞信局長ハ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ變更シ之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十八條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ成立ニ付朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法(以下船員法ト稱ス)第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ

被保險者タル海員ニシテ雇入ノ公認ヲ受ケザルモノノ死亡又ハ行衛不明ニ付朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行規則(以下船員法施行規則ト稱ス)第四十九條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ニ届出ヲ爲シタルトキハ船舶所有者

ハ直ニ其ノ被保險者ノ標準報酬ヲ決定スベシ

前二項ノ規定ニ依リ船舶所有者標準報酬ヲ決定シタルトキハ遲滞ナク之ヲ遞信局長ニ届出ヅベシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ決定ガ不當ナルトキハ遞信局長ハ之ヲ取消シ其ノ標準報酬ノ決定ヲ爲シタル上之ヲ船舶所有者ニ通知スベシ

第十九條 被保險者タル海員ノ雇入契約ノ變更ニ付船員法第十八條ノ規定ニ依リ管海官廳ノ事務ヲ行フ帝國ノ領事官又ハ貿易事務官ノ公認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルモノナルトキハ船舶所有者ハ直ニ之ヲ變更シ遲滞ナク遞信局長ニ届出ヅベシ

前條第四項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ爲シタル標準報酬ノ變更ガ不當ナル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 船舶所有者ハ第十六條若ハ第十七條ノ通知ヲ受ケタルトキ、第十八條第一項若ハ第二項ノ決定ヲ爲シタルトキ又ハ前條第一項ノ變更ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ受有スル船員手帳ニ其ノ標準報酬ノ等級ヲ記載スベシ第十八條第四項又ハ前條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同ジ

第二十一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ逓信局長ニ提出スベシ

一 住所及氏名

二 現在ノ標準報酬ノ等級

三 希望スル標準報酬ノ等級

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請第十三條ノ申請書ニ前項第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ逓信局長ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スベシ

## 第二章 保險 給付

### 第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十二條 療養ノ給付ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令（船員法

施行令及關東州船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令ヲ含ム以下之ニ同ジ）第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ベキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令（以下船員法施行令ト稱ス）第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當（船員ノ失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同ジ）ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ベキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十三條 被保險者ハ逓信局長ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師（以下保險醫ト稱ス）ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ様式第四號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クベシ  
船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局長ヲ含ム以下之ニ同ジ）ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スベシ

船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ捺捺スベシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ



拒ムコトヲ得ズ

被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シアル疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ返納スベシ船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタルトキハ之ヲ遲滞ナク逓信局長ニ提出スベシ

第二十四條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船員手帳及船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ヲ保險醫ニ呈示スベシ

第二十五條 保險醫ハ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ呈示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スベシ

第二十六條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ逓信局長ヨリ様式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クベシ但シ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

被保險者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ扶助

ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十三條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケザリシトキハ其ノ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受クベシ

第二十三條第二項及第四項ノ規定ハ船舶所有者ガ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ逓信局長ニ提出スベシ

- 一 住所、氏名及生年月日
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日
- 三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級
- 五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依

リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲グル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添附スベシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ遞信局長ヨリ交付ヲ受ケタル診療券(第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券)ヲ保險醫ニ呈示スベシ

被保險者タリシ者ハ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ヅベシ

第二十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受グルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ遲滞ナク第六號ニ掲グル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ヅベシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ

名稱並ニ船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 療養ノ給付開始ノ年月日

五 當該疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因リテ生ジタル事實並ニ第三者ノ住所及氏名(第三者ノ住所又ハ氏名ガ不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地

第三十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ遞信局長ノ指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受クル保險醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スベシ

第三十一條 保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師規則第十二條又ハ齒科醫師規則第五條ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スベシ

第三十二條 被保險者タリシ者ハ保險醫變更ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局

長ニ提出スベシ

- 一 住所、氏名及生年月日
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地
- 五 保險醫ノ變更ヲ必要トスル事由
- 六 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

遞信局長保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルトキハ様式第六號ニ依ル承認書ヲ交付スベシ

第三十三條 前條第二項ノ規定ニ依リ遞信局長ノ交付シタル承認書ハ第二十八條第一項ノ診療券ニ依リテ診療ヲ受ケタルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ト看做ス

第三十四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第三號（一回ノ費用二十圓ヲ超ユルモノニ限ル）乃至第五號ノ給付ヲ受クルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スベシ但シ己ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク左ニ掲グル事項及己ムヲ得ザリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ届出ヅベシ

- 一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所
- 二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日
- 三 療養ノ給付開始ノ年月日（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨）
- 四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所ノ所在地（申請ノ際療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受クル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所ノ所在地）
- 五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十三條第一項又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ第二十七條第一項第二號乃至第四號ニ掲グル事項

前項ヘ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第三號乃至第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付

ノ内容及給付ニ要ズベキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スベシ  
 令第十八條第一項第三號又ハ第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ  
 本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ併セテ爲スコトヲ得第一項但書ノ  
 規定ニ依ル届出ニ付亦同ジ

第三十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲  
 グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所ノ所在地（申請ノ際療養ノ給  
 付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付ガ療養費ノ支給ナルトキハ入院  
 セントスル診療所ノ所在地）ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ提出スベシ但シ已ムヲ得  
 ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク第一號ノ事  
 項及入院シタル診療所ノ名稱、所在地並ニ已ムヲ得ザリシ事由ヲ管海官廳ヲ經由シ遞信局長ニ  
 届出ツベシ

一 前條第一項各號ニ掲グル事項  
 二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地  
 前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ

意見書ヲ添附スベシ

遞信局長診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ様式第七號ニ依ル承認書ヲ交付スベシ

第三十六條 遞信局長ガ被保險者タリシ者ニ對シ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所  
 ニ入院ノ承認ヲ爲シタルトキハ保險醫變更ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ遞信局長ヨリ交付  
 ヲ受ケタル診療所入院承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入  
 院スベキ診療所ガ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診療  
 所入院承認書ハ第二十八條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第三十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承  
 認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハザルニ至リタルトキハ他ノ保險醫  
 ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタル  
 トキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ入院シタル診療所ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ遞信  
 局長ニ届出ツベシ